

# インターンシップ(学外実習)に関する報告書

平成 18 年度

沼津工業高等専門学校

## 平成 18 年度インターンシップ(学外実習)に関する報告書

### もくじ

本校のインターンシップの概要	1
今年度のインターンシップの特徴	2
資料 A. インターンシップに関する、受入機関対象のアンケート	4
A-1. アンケートの概要とデータの集計	4
A-2. アンケートの集計 (文章形式の回答)	7
A-3. アンケートの質問	12
資料 B. インターンシップに関する、学生対象のアンケート	14
B-1. アンケートの概要とデータの集計	14
B-2. アンケートの集計 2 (企業リスト)	19
B-3. アンケートの集計 3 (学生の感想)	28
資料 C. インターンシップ受入先選定の支援(5月 24 日)の報告	32
資料 D. インターンシップ学内事前研修(7月 12 日)の報告	34
資料 E. 3 年生対象 インターンシップ体験談 (2 月 7 日) の報告	36
資料 F. その他の活動の記録	37
資料 G. 学外実習規定	39
資料 H. 学外実習生学生心得	40

### 本校のインターンシップの概要

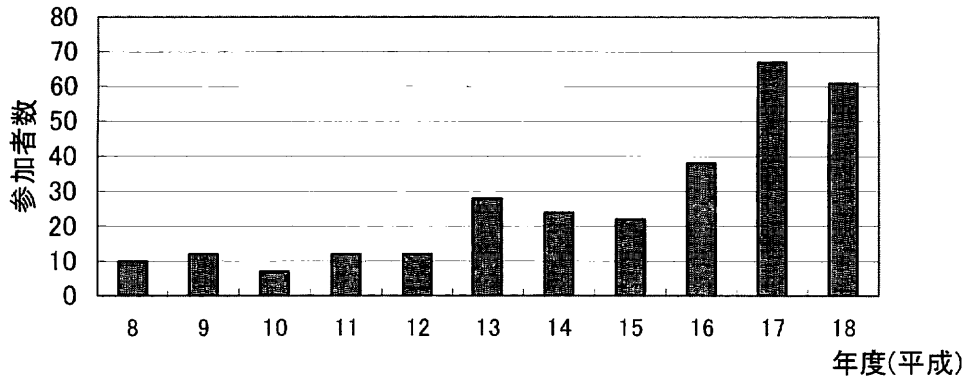
インターンシップは一般的には「学生が企業等において自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行う制度」<sup>(註1)</sup>とされています。これは学生にとって ①学習意欲の向上、②高い職業意識の育成、③自己の発見、④責任感・自立心の醸成に高い意義を持つとともに、学校にも⑤学習効果の向上、⑥学習内容の改善・充実、⑦産学交流、⑧学校 PR・企業とのコミュニケーション構築に効果が望めるものです。エンジニア教育を旨とする本校においても、この制度は意義深いものであり、学外実習という科目の 1 つの形態として 10 年以上前から実施してきました。この報告書の資料に、本校の学外実習規定関連の規則を添付します。

本科生に関する学外実習実施人数の平成 8 年度からの推移を図 1 に示します。かつてそれほど盛んでなかった時期もありましたが、最近になってはっきりとした増加が見られ、現在では 4 年生のうち 3～4 割が参加することが定着してきました。

成果は着実に上がっていると考えられます。まず、体験した学生の反応ですが、大半の学生が有意義であったという感想を持っています。また、インターンシップの経験は就職活動に大きな影響を与えています。学科によっては半数の学生がインターンシップ先への就職を決めています。クラス内におけるインターンシップ報告会を聞いた学生が、受け入れ企業への就職を決意したという例も生まれています。

今年度のスケジュールを表 1 に示します。

4年生のインターンシップ参加者数



- 注1 H17年度までは学外実習の単位を取得した人数、H18年度については実施したという報告を受けた人数。なお、本校の学外実習とはほとんどが企業におけるインターンシップであるが、大学の研究室体験も少しはある。
- 注2 専攻科(1学年約20名)も学外実習は実施している。ただし、専攻科では必修科目であり年度の変動がないため表にしていない。

図1 年度ごとの参加者数

## 今年度のインターンシップの特徴

学生への事前研修指導や、学生からのアンケートなど、例年実施していることは今年度も実施してきました。今年度も学生の満足度や得られた事は昨年度と同様だったといえます。今年度は、それら従来からの取り組みに加えて、次のようなことを実施しました：

- (1) 受入機関による沼津高専のインターンシップに関するアンケート調査を実施しました。詳細は、資料Aにまとめてあります。その中では、これからのインターンシップに必要な事項について愛情のこもった厳しい指摘を受けました。こうした指摘を強く受け止め、ますますの発展につなげたいと思います。
- (2) 静岡県東部の商工会議所には協力をお願いすべく挨拶をしてきました。
- (3) 学内での情報伝達に学内専用のウェブを用いました。また、沼津高専インターンシップの公式ページの準備を始めました。(注2)
- (4) 外部で行われたセミナー等にはできる限り参加し、インターンシップの新しい動きについて調査を続けました。

この報告書はこうした全体像が分かるように取りまとめました。今後も更にインターンシップを充実させていきたいと思います。

最後に、貴重な時間を割いて学生を受け入れ、丁寧に指導して下さい、アンケートにも真摯に答えてくださった企業の方々に、この場を借りて深く感謝申し上げます。

平成19年3月8日

教務主事補 インターンシップ推進担当 望月孔二

注1)「インターンシップ推進支援センター 公式サイト」インターンシップ推進支援センター(日本経団連内) (<http://www.internship-ssc.org/index.html>)

注2) 沼津高専インターンシップ暫定ページ <http://user.numazu-ct.ac.jp/~mochizuki-k/jugyo/intern/index.html>

表1 平成18年度(2006年度)年間スケジュール

時期	内容	受入先	学生	指導教員 (学科,担任)	学校
2月	3年生対象インターンシップ説明会		◎	○	◎
4月～	クラス対象インターンシップ説明会			◎	◎
	インターンシップ学生の募集 (基本的なやりかた。学科が特定されていても基本的にはこの形式が望ましい)	◎			◎
	インターンシップ学生の募集 (特に学科が特定されていて、特別な事情があるもの…例えば企業に対してある学科がお願いして募集が生じたもの)	◎		◎	
	受入先情報の学生への周知		◎	◎	○
	受入先選定の支援(資料C)		◎	○	◎
5/16	静岡県東部地区の商工会議所に挨拶回り	◎			◎
5月～	学生の応募とマッチング調整(応募の重なりがあったときなど必要に応じて)		◎	◎	◎
	受入先への依頼文送付	◎			◎
	保険への加入		◎	○	◎
	学科での事前研修		◎	◎	
7月	参加する全4年生対象の事前研修(資料D)		◎	○	◎
8月	実習開始	◎	◎		
	指導教員による現場訪問(不要でない限り)	◎		◎	
	実習終了	◎	◎		
9月～	受入側からの学生の評価	◎			◎
	実習報告書の提出		◎	◎	
	各学科での報告会		◎	◎	
	受入先アンケートの収集と集計(資料A)	◎			◎
	学生アンケートの収集と集計(資料B)		◎	○	◎
2月	3年生対象説明会(資料E) 希望者参加とした。		◎	○	◎
3月	単位認定			◎	◎

※ ◎主な担当 ○協力

※ 学校とは、インターンシップ推進ワーキンググループと教務係のことです

※ 時期については多少の前後があります

※ 各学科の詳しい取り組みは、平成16年度の報告書をご参照ください

## インターンシップに関する、受入機関対象のアンケート

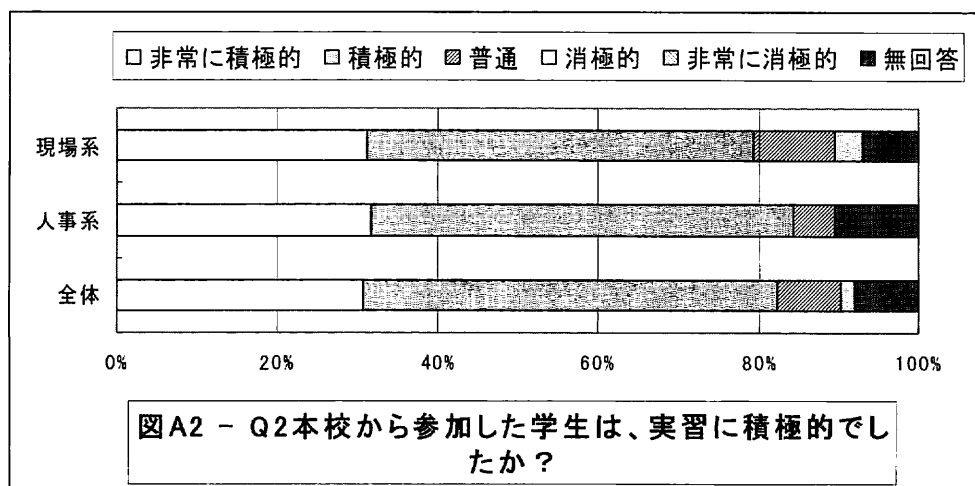
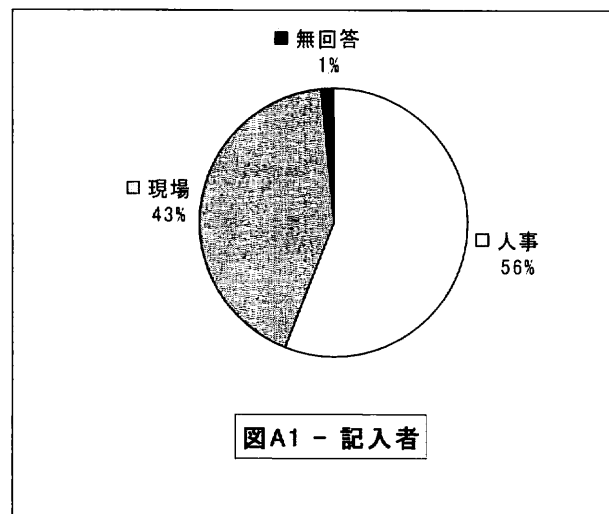
今年度は初めて受入機関にご協力をお願いし、沼津高専のインターンシップに関するご意見を賜りました。質問内容は資料 A-3 に示すとおり 9 つの項目からなり、学生や学校の対応に関する 5 段階評価のものから、回答を文章記述とする質問まで含まれます。

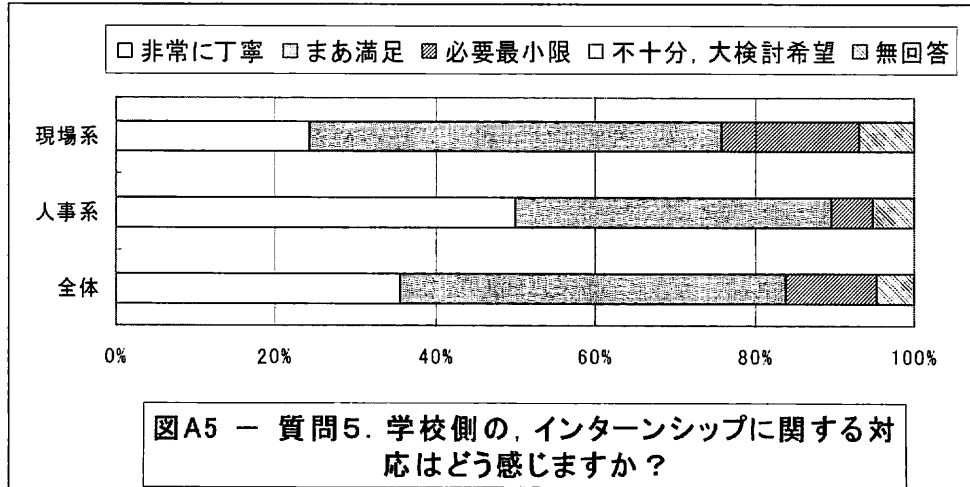
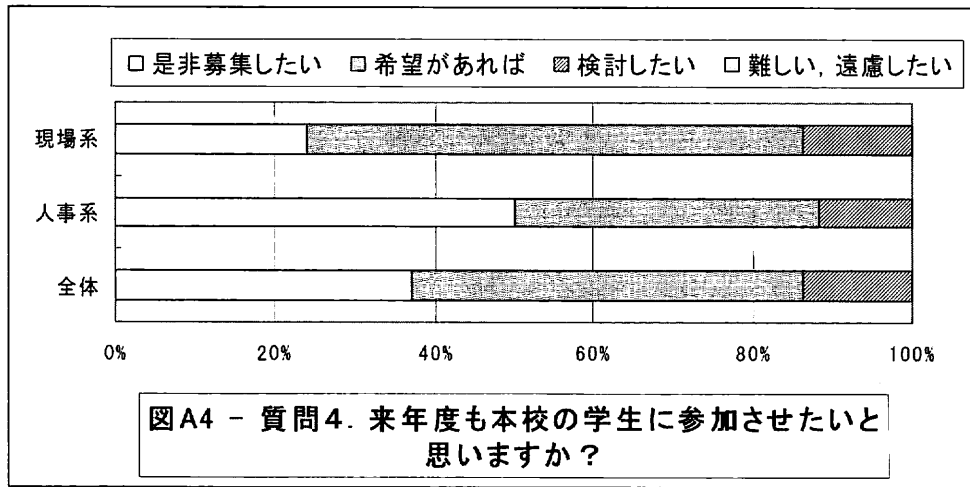
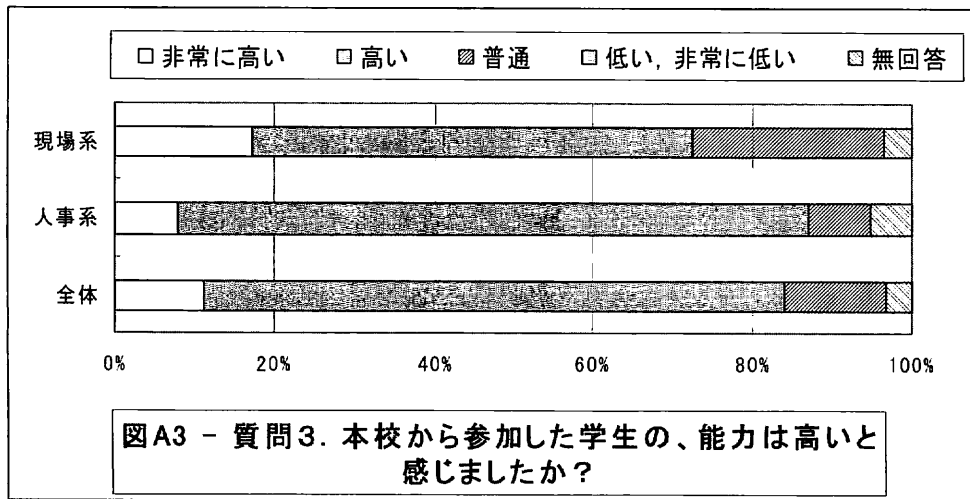
これに対して、47 の受入機関から、62 通の回答を頂きました。ここでは、それらの結果と、そこから得られる結論をまとめます。なお、文章形式による回答の結果は資料 A-2 にまとめました。

### アンケートの概要とデータの集計

最初の質問(質問 1. 記入者の方は、インターンシップにはどのように関わりましたか?) に対しては、図 A1 のように人事系と現場系がほぼ半分ずつという比率であることが分かりました。

そこで、続く 5 つの質問に対する回答は、人事系と現場系に分けてグラフ化し、図 A2～図 A6 にまとめました。





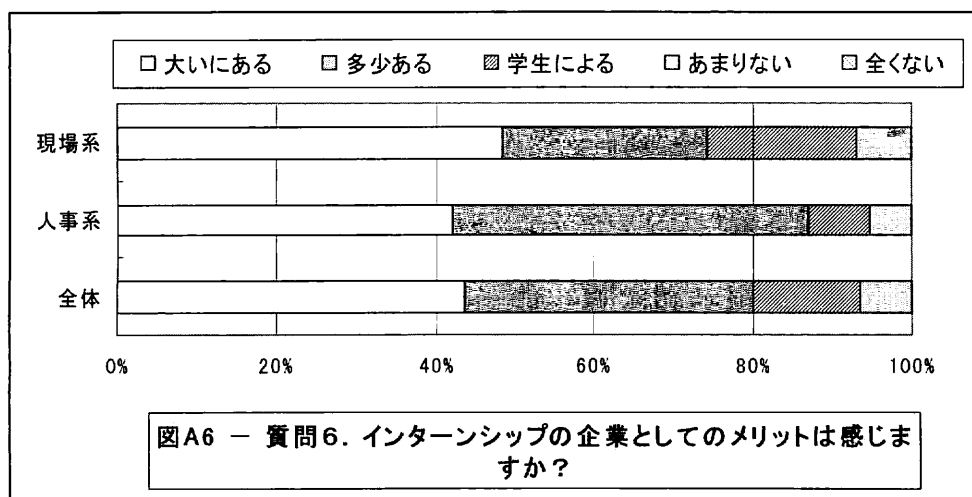


図 A2 から図 A6 によると、本校のインターンシップはほぼ肯定的に見られていると結論できると思われます。しかし、学校として目指すべきは評価は「普通」という回答ではなく、それを超えるものです。そうした基準で回答を見直すと、次のような点について、今後検討してゆく必要があると考えられます：

- (1) 質問 3 において、現場系の評価では「普通」が 2 割に近い。
- (2) 質問 5 において、現場系の評価では「必要最小限」とする評価が 2 割もある。
- (3) 質問 6 において、「学生による」や「あまりない」という回答の合計が、2 割もある。

質問 7 から質問 9 については、文章形式で回答を頂きました。これらについては資料 A-2 に結果をまとめました。リスト内で“A”の印をつけたものは、改善に向けた強い提案と编者（望月）が感じたものです。このうちの大半は学生の動機付けの改善を求めるものです。またインターンシップの目標の明確化を求めるものもありました。なお、採用直結を望むものと编者（望月）が感じたものには、リスト内で“B”という印をつけました。

### 今後の取り組み方と、まとめ

直ぐに取り組めるものについて取り上げ、現状と改善策を述べます。

学生の動機付けについては、現状では 2 回以上学内で事前研修をするという体制で臨んでいます。しかし、今年度に多くのご指摘を得たという事実を強く受けとめ、学生への教育を更に徹底するとともに、学生の意思確認をより厳格に行うように改めます。

インターンシップの目標の明確化を求められていることに対しては、受入機関との打合せを、今まで以上に密にすることで改善いたします。このことは既に教員会議にて全員に状況を説明してあります。

最後に、貴重な時間を割いて学生を受け入れ、丁寧に指導して下さり、アンケートにも真摯に応えてくださった企業の方々に、この場を借りて深く感謝申し上げます。沼津高専としても、インターンシップの改善という形で報いたいと思います。

## 受入れ機関が学生に望むこと

(質問7. インターンシップに参加させる学生に関して、ご要望・ご質問がございましたらお書き下さい。)

- A ←改善に向けた強い提案
- a ←改善に向けた提案
- B ←採用直結を望む
- C ←質問
- A ・インターンシップ体験の中で少しでも多くのことを学ぶためにも、少しでも気になる点は質問をし解決する等今以上に積極的な行動を習慣づけていただきたい。
- A ・インターンシップの間は、企業側の担当者が常時付いて指導することはなかなかできませんので、不明点等があれば自ら質問に来るような積極的な行動を希望します。
- A ・貴高専に対するコメントではなく一般論として、最近、インターンシップが単位となる高専が多いようですが、単位が出なければインターンシップに参加しないような学生を受け入れるのは遠慮したい。当方としても短期間で出来る限り有益な情報を与えられる様準備しているので、積極的な学生に参加して頂きたいと考えています。
- A ・自分が何をやりたいか、何が出来るのか、もう少し事前の準備をしてもらったらどうでしょうか。
- A ・将来の目的にあった学生の参加をお願いしたい
- A ・将来の目標を明確に。何に(どの様な業務)取り組みたいかを話しあいたい。
- A ・製造業として「純粋に物作りの大変さや楽しさを学生に体験してもらいたい」をテーマにしているので、物作りに意欲の有る学生、又は将来製造業に従事したいと考えている学生が参加されたほうが、お互いのテーマが一致して意味の有る活動になると思います。
- A ・先輩諸氏等からできるだけ企業側の情報を確認した上で参加していただいた方が良いのでは。
- A ・短期間ではあるが業務に積極的にかかわる姿勢を見せてほしい。
- A ・当社の業務内容についてある程度事前に認識しておいて欲しい。
- A ・目的、意識をしっかりとった学生を受け入れたい。  
・作業に対する取り組み姿勢に、甘さが多々見られた。
- A ・目的をしっかりとって参加してほしい  
・あいさつを積極的に実施する
- a ・挨拶・応答が明るく出来ること
- a ・一般的な事柄として、2つあります。  
①目的意識を持って参加して欲しい。  
②挨拶やお礼などの最低限度のマナーを身に付けてきて欲しい。  
(沼津の学生さんはできていました)
- a ・短期間の実習を実りあるものにするために動機付けをお願いします。
- a ・目的を持って参加して欲しい。
- B ・以下に該当する学生さんを優先的にいただくことを希望します。(ただし、このことを参加の絶対要件とする予定はありません。)  
○弊社に興味・関心を持っている学生  
○石油業界に興味・関心を持っている学生  
○高専(本科)卒業後に就職を希望している学生
- B ・就職を希望している学生の参加をお願いします。
- B ・できれば、進路予定が就職希望者を人選頂ければ有り難いところです。
- B ・能力の高い人をお願いします。



- C ・以前、どういう会社（業務内容）か全く知らずに参加してきた学生がいた。私はこの会社は〇〇を作っているから参加してみたい・・・という動機があつて参加してきたと思っていたのでビックリした。学生（学校側）は何を基準に参加企業を選んでいるのか？
- C ・参加させる学生はあくまで学生さんの希望にて学校が推薦（もしくは手続き）するのでしょうか？
- ・一昨年、昨年、本年度ともインターンシップに対して非常に熱心に取り組んでいただき、ありがたく思っています。今後ともこのような学生さんに来ていただけることを期待しております。
  - ・意欲、能力共高く、前向きに取り組んでいただけたことから、特に申し伝えることはございません。
  - ・意欲を持って取り組んでいただいたと思います。
  - ・インターン期間中にできることは非常に限られておりますので、インターン後（単位認定対象外）も繋がりを継続できれば素晴らしいと思います。
  - ・受入職場にもよりますが、実験の経験・専門分野の幅広い基礎知識等をより多くして参加頂ければ、より効果的な機会になると考えます。
  - ・会社や職場は大人の世界であり、身なり・所作・言葉使い等の外見でその中身が判断されてしまう場合があります。学生生活では気付かなかつた部分かと思いますが、社会勉強の一つとして捉えて欲しいと思います。技術的（テクノロジーやテクニク）研修も当然ですが、弊社で働く人たちの仕事ぶりや技術に関する考え方、人間性（個性）等も合わせて見て頂くと、我々の業界に関する理解がより広がると思います。
  - ・企業活動に触れるせつかくの機会だと思っておりますので、是非積極的に取り組み、何かをつかんで頂ければと思います。
  - ・現在のところ、社宅や独身寮がなく、宿泊費をお支払いする社内基準もないため、当面は自宅から通勤可能な方をご紹介いただけたらと思います。
  - ・今回ご参加いただいた学生については非常に積極的に取り組んでいたと聞いております。次年度以降についても是非弊社のインターンシップにご参加いただければと思います。
  - ・今回ご参加いただいた学生は非常に向上心、実直であり指導する側としても意味があったと思います。
  - ・今回の学生さんは、執務態度もまじめであり業務に意欲的に取組んでくれたので指導者として教え甲斐がありました。貴校殿におかれまして、優秀人材育成をされていることを学生さんを通し実感しました。
  - ・今回も弊社に対して、また学外実習そのものに対して、高い意識で参加していただきました。今後ともその姿勢を継続していただければと思います。
  - ・社内でお会いした方とのあいさつ、何かして頂いた時のお礼といった、最低限のマナーは出来ていることが望ましい。（今回参加の〇〇君はOKでした）
  - ・説明を聞く態度は非常に良く、また積極的に質問等もされ意欲的である。
  - ・短期間での研修になるため、成果を重視するとお互いにギャップを生じてしまう。まずは、大まかに企業の実態をつかむ研修との位置づけを望んで欲しい。
  - ・電力会社の現場経験を通じて、業務内容を理解するという目的に加え、全国の高専から多数の学生が集まり、共同作業をする機械でもあります。他校学生との交流についても、当社のインターンシッププログラムの魅力としてアピールしたいと思っております。
  - ・当社のHPなどを予め確認し、企業のことを少しでも知っていてほしいと思います。
  - ・当社の仕事に興味を持っている方であれば要望はありません。
  - ・取組み姿勢と能力が良かったので、期待したい人材でした。

- ・時間が少ないので、うわべだけの指導になったきらいがあり、残念に思っています。
- ・弊社は製造会社ですので、将来にわたりもの造りに携わりたい方に参加して頂ければと考えております。
- ・前向きに取り組む姿勢がみられる方であれば問題ありません。今回参加された〇〇さんは好印象でした。
- ・短い期間なので質問どんどんして遠慮しないほうが良いと思います。

## 受入れ機関が学校に望むこと

(質問8. インターンシップ実施に関して、学校側に対してご要望・ご質問がございましたらお書き下さい。)

- A ←改善に向けた強い提案
- a ←改善に向けた提案
- B ←採用直結を望む
- C ←質問
- A ・インターンシップの間に完了できなかった分を課題として持って帰ってもらいましたが、その後の情報が入って来ません。(望月注:これについては、既に対応済みです)
- A ・学生の技術的な理解度が最初の頃は分からないため、どのような作業をさせるのが良いのかなか分からなく、計画を立てにくいところがあります。
- A ・企業で行う実習に対して学校としての要望があってもよいと思います。
- A ・参加目的が単位取得のためだけにならないよう、実施の意義、参加して何を学びたいのかを明確に意識して参加して頂ければ、お互いにメリットがあると思います。
- A ・事前に基礎的な学習をしていることが望ましい。
- A ・進学希望でとりあえず参加という気持ちの学生が多いようです。単位の一つではなく本人の就職するビジョンを持って学んで欲しいです。
- A ・前項と同様(将来の目標を明確に。何に(どの様な業務)取り組みたいかを話しあいたい。)
- ・また、インターンシップが単位取得の手段だけでなく、企業に入って何か一つでも学ぼうという仕事に対する思いなど、参加希望者にご教示いただけたらと思います。
- A ・もう少し「どのようなことを学ばせたいのか」について協議した方がよかったですと感じております。来年以降については、そのあたりを実施前に協議する時間があるとよいと思います。
- A ・報告書の内容につきましてはもう少し配慮いただければありがたく存じます。内容によっては、そのまま職場に報告できないこともございました。
- a ・今後とも事前・事後教育を含め、学生をフォローアップしていただき、参加した学生の実りの多い経験にしていただきたいと思います。
- a ・自らの希望により参加して欲しい。
- B ・興味のある学生を対象に事前に会社説明会をさせていただけるとありがたいです。
- B ・女性だけでなく男性の参加もお願いしたいと思います。
- B ・前項と同様(将来の目的にあった学生の参加をお願いしたい)
- B ・弊社への入社及び問う事業所(藤枝市)勤務に興味がある学生を紹介いただければ幸いです。
- B ・平成19年度は、工学部男子学生がいらっしゃれば、是非お願いします。
- C ・学校は企業に何を求めているのか、インターンシップを通じて何を学生に学ばせたいのかを知りたい。
- C ・求人活動に結びつく結果を求めることはできますか(?)
- C ・できるだけ設計的な作業を行っていただきたいと思います。他の企業でどの

ような内容の作業を行っているかの例を示していただくと参考になります。

C ・弊社技術部に研修に来られる学生さんの選定は、どのような視点で決定されるのでしょうか。

①将来の進路先として

②単位取得のため

③個人的な興味

④その他

・化学メーカーへの関心を高めて頂くべく、今後とも是非受け入れさせていただきますので、学生の方々にもPRのほど宜しくお願いします。

・業務内容をより理解していただくために、1ヶ月程度の期間が適当だと思います。

・今後ともよろしく宜しくお願いします。弊社としては大変ありがたく思っております。

・今年度同様に問題ありません。

・産科学性において、持病・通院の記録等の状況があれば、事前に連絡を頂きたい。(それによって受入可否を決定するものではありません)

・実施時期は7月上旬(下旬?文字がちよっとつぶれている)から8月上旬にお願いしたい。

・実習期間は最低10日として頂きたいと存じます。

・当社インターンシッププログラムはグループ単位での受講であり、複数の事業所を周回する形式となっております。そのため、実習期間を通じて個人に対する評価を求められても、公平性に欠けてしまうため、ご遠慮させていただいております。ご理解ください。

・繁忙期はなるべくさけて頂いた方が、より多くの仕事場を見せたり、より行きとどいた指導ができると思います。

・他の高専からもインターンシップ受入可否の問い合わせが来ますので、参加希望があれば出来るだけ早く連絡を頂きたい。

・毎年、恒例的な形で継続できればと考えます。

・優秀な学生さんとの貴重な出会いです。橋渡し、ありがとうございます。

・良い機会ですので、会社側、学生側双方にとっても期間の延長が望ましいと思いません。

・来年以降も実施いたしますのでよろしくお願いいたします。

・私ども企業としても短期間ではあるが、多くのことを学んで欲しいと言う、前項とは矛盾してしまいが、そのような気持ちになってしまう。そこで最低限、学びたい事を事前に知らせて頂ければありがたい。

・今夏のインターンシップでは物質工学科より1名の学生さんを派遣いただきました。このインターンシップ最終日の終了報告会には、物質工学科教授にご参加いただいて参加学生そして弊社に対してアドバイスをいただきました。教授にはご多用の中お越しいただきましたが、学校そして先生方の事情が許す限り継続していただくと企業がよりよいインターンシップを継続する上で有効であると考えます。

## 受入れ機関の諸々なご意見

(質問9. その他何かございましたら、ご自由にお書き下さい。)

A ←改善に向けた強い提案

a ←改善に向けた提案

B ←採用直結を望む

A ・会社にとっても新鮮な刺激になり、また学生にとっても開発実態とは何かを感じる非常に良い機会であると思えます。

様々な業界がありますので、逆に他のケースを経験された感想等をフィードバックいただければ、お互いのメリットになると思います。

質問5にて「必要最小限」と答えた理由は、受け入れ前に貴校の状況把握の説明を受けなかったことで、主旨の把握を直接見出しできなかったことによるものです。

直接受け入れ指導する部門、担当が事前に会話をしておくことが円滑な受け入れ指導をするためには必要であると思います。

企業にとって学生の単位取得は問題ではなく、しっかりと現場体験をしていただくことが使命と考えますので、今後も円滑な関係を維持させていただく上でも、特に受け入れ前後での会話を有効にさせていただければと思います。

- A
- ・入社後のミスマッチを防ぐためにも、インターンシップ前に就職という一世一代のイベントについて認識させてから、企業を選ばせることで、学生にとっても企業にとっても有意義なインターンシップになると思います。特に大学生に比べて高専生は就職に対しての取り組みが少なく、時期も遅いと思うので、世間を勉強させる意味でも重要だと考えます。
- a
- ・これからも、積極的に受け入れていきますが、この期間中の対応が若干、煩雑になることがある。この点はお許しを頂きたい。更に機構系の学生さんの願いをします。
- B
- ・各企業は競争社会で勝ち残る為、優秀な人材を求めています。インターンシップに協力している企業は優秀な学生を獲得したいと思う所が本音です。学生の就職活動の際は、是非とも学校側で各社を紹介出来るシステムをご検討願います。
- B
- ・昨年入社した〇〇君、今回の◎◎君ともに優秀な人材を育成されており、引き続き弊社推薦にご配慮いただき、貴校卒業生の継続採用を希望しております。
- B
- ・弊社では高専卒の方を採用して欲しいという声は職場から多いです。(専門知識があり大いに戦力になるので。) 就職の際にはご紹介よろしくお願ひします。
- B
- ・良い人材の採用につながればと期待しています。
  - ・学生のことを知る良い機会を得ることができました。
  - ・技術系職場の業務量は日にちにより濃淡があり一定ではありません。研修はなるべく多くの業務に接して頂く事を前提に、こちらで決めた内容で進行させて頂いております。必ずしも初期の希望に叶うものではないかも知れませんが、新しい発見や団体競技にも例えられる弊社業務の姿をご覧いただける筈です。
  - ・今回、弊社も初めての試みだったため、なかなかご要望にお答えできなかったかと思ひます。もしご要望がありましたら、ご遠慮なくお申し付けください。今後ともよろしくお願ひ致します。
  - ・今回のインターンシップは9日間といった短い期間であり設計業務内容について理解するには難しかったと思ひます。学生さんの時間が許すのであれば、1ヶ月位の実習期間でももう少し社会人としての経験を得ることができたと思ひます。
  - ・事務作業等、先生方のご負担が多いとお見受けします。この点を補う機構ができれば、ますますインターンシップの活用が進むのではないのでしょうか。
  - ・多数の参加をお待ちしております。
  - ・沼津高専の生徒さんは皆さん非常に熱心に課題に取り組んで頂き、現場の監督としても楽しく有意義な時間が過ごせて大変ありがたく思っております。今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。
  - ・本音で言えば、インターンシップで来られた学生さんが我社に興味を示して下さいれば、現場サイドとしても指導のし甲斐も感ずるが、しかし本人がその学びを社会で生かしてもらえればそれはそれで嬉しいことである。ただ単位取りだけの目的であれば意味のないものになってしまう。

インターンシップ担当者殿

平成 18 年 11 月 1 日

## インターンシップアンケートのお願い

沼津工業高等専門学校長

拝啓

貴社ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、「インターンシップ」をよりよいものにすることを目的に、今年度からアンケートを実施したいと思っております。お忙しい中で恐縮ですが、差し支えない範囲で別紙にご回答いただき、ご返事いただければ幸いです。

敬具

- ※ このアンケートのご回答枚数は、会社あたり 1 枚で十分だと考えていますが、もしも差し支えないのであれば、人事担当の方（会社あたり 1 枚）と現場指導の方（担当者の人数、または受入学生の人数ぶん）からお返事いただくことを理想としています。必要に応じて、用紙のコピーや電子転送をお願いいたします。
- ※ このアンケートが本校のインターンシップを維持発展させるために使います。その際、集計は全体に関するものとしたします。個々の会社のご回答を公表するものではありません。集計結果は今年度末までに集計し今後のインターンシップに役立たせると同時に、本校のウェブにて公表いたします。
- ※ 期限は 11 月末日を目処にお願いいたします

ご回答は沼津高専学生課宛てに e-mail または FAX 送信にてお願いします。

e-mail : [kyoumu@numazu-ct.ac.jp](mailto:kyoumu@numazu-ct.ac.jp)

FAX 055-926-5882

お問合せ先：沼津高専 学生課 (TEL 055-926-5732)

## 沼津高専のインターンシップに関するアンケート回答用紙

貴社名 \_\_\_\_\_

記入者お名前 \_\_\_\_\_

質問1. 記入者の方は、インターンシップにはどのように関わりましたか？

→人事課系（主に手続きや企画を担当）、現場系（主に学生の直接指導を担当）

### （5択）

質問2. 本校から参加した学生は、実習に積極的でしたか？

→非常に積極的、積極的、普通、消極的、非常に消極的

質問3. 本校から参加した学生の、能力は高いと感じましたか？

→非常に高い、高い、普通、低い、非常に低い

質問4. 来年度も本校の学生に参加させたいと思いますか？

→是非募集したい、希望があれば、検討したい、難しい、遠慮したい

質問5. 学校側の、インターンシップに関する対応はどう感じますか？

→非常に丁寧、まあ満足、必要最小限、不十分、大いに検討改善を希望

質問6. インターンシップの企業としてのメリットは感じますか？

→大いにある、多少ある、学生による、あまりない、全くない

### （以下文章形式）

質問7. インターンシップに参加させる学生に関して、ご要望・ご質問がございましたらお書き下さい。

質問8. インターンシップ実施に関して、学校側に対してご要望・ご質問がございましたらお書き下さい。

質問9. その他何かございましたら、ご自由にお書き下さい。

ご協力どうもありがとうございました。

ご回答は沼津高専学生課宛てに e-mail または F A X 送信にてお願いします。

e-mail : [kyoumu@numazu-ct.ac.jp](mailto:kyoumu@numazu-ct.ac.jp)

FAX: 055-926-5882

今年度の学外実習アンケートは、2005 年度に初めて全学的実施したものとほぼ同じ内容のものとした。変更した点は、語句の細かい訂正と、エクセルを使った集計がたやすく行えるように回答方法を変更したことと、事前研修に関する質問を新たに加えたことなどである。アンケートの質問内容は、

<http://user.numazu-ct.ac.jp/~mochizuki-k/jugyo/intern/index.html>

で見ることができる。

この報告書には、集計結果をまとめる。昨年度と似た結果が得られているほとんど同じ結果である。なお、今年度は学生への連絡が徹底できず、回収率が半分以下にとどまった点は反省したい。

### アンケートの概要とデータの集計

表 B1 は本学校のうち、インターンシップに参加する学年の学生数と、実際の参加者数を示す。図 B1 には、本校でインターンシップに行った学生の数を示す。

インターンシップは本科の学生には選択科目であり、専攻科学生には必修科目である。

表 B1 本学校の学生数

学科・学年 (略称)	人数(名)	参加者(名)
機械工学科・4年生 (M4)	43	22
電気電子工学科・4年生 (E4)	43	10
電子制御工学科・4年生 (D4)	39	2
制御情報工学科・4年生 (S4)	43	13
物質工学科・4年生 (C4)	42	14
(4年生合計)	(210)	(61)
専攻科・1年生	18	18
全合計	228	79

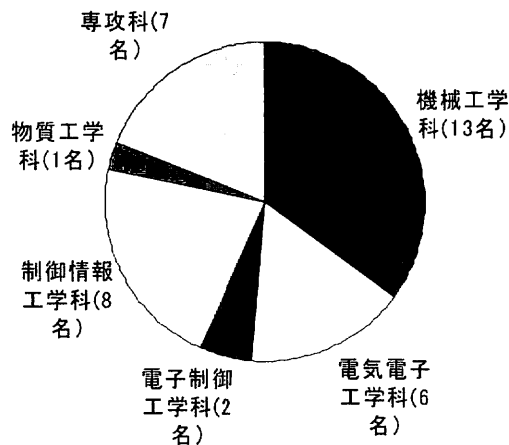


図 B1 学外実習アンケート回答者数

続いて図 B2 に、アンケートの Q2「実習の動機(複数回答)」を集計したものを示す。図中のアルファベットの意味は表 B2 に示す。

傾向は昨年度のものとはほとんど変わらない。本科生の最大の動機は、f (社会体験をしたかったため) であり、専攻科生の場合は必修科目であることから、最大の動機は a' (必修の単位を取得するため) である。

表 B2 図 B2 中の記号の意味

a.	必修でないが単位がもらえるため(本科生のみ)
a'.	必修単位をもらうため(専攻科生のみ)
b.	将来のキャリアを開発するため
c.	自分にあった就職先を考えるため
d.	面接や履歴書等で就職に有利と考えて
e.	自分の意識・レベルを上げるため
f.	社会体験をしたかったため
g.	学校で学んだ専門を生かすため
h.	自分の適性を探すため
i.	自分の力を試すため
j.	その他( )

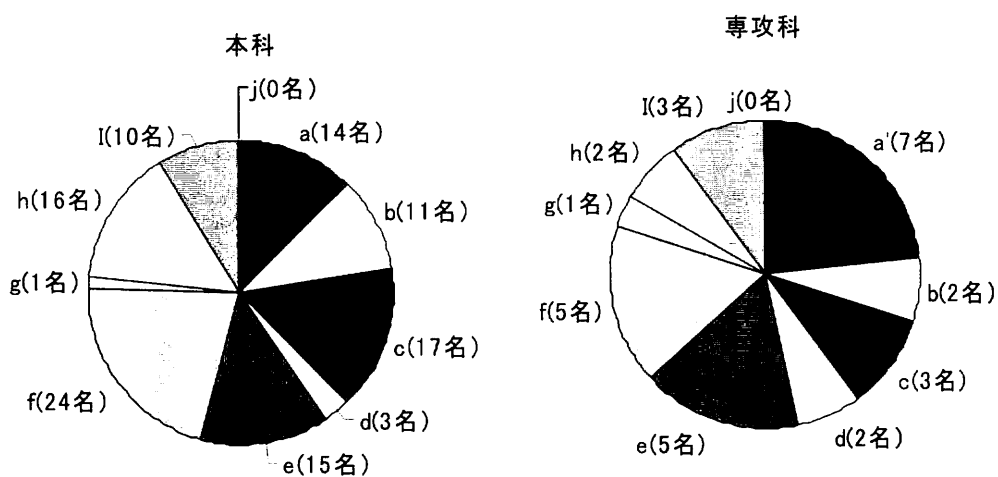


図 B2 「実習の動機(複数回答)」の集計

図 B3 に、アンケートの「受入機関選択の経緯」を集計したものを示す。図中のアルファベットは回答を示すものであり、その内容は表 B3 に示す。

このアンケート結果については、昨年度に比べてとき、本科生も専攻科ともに「c. 学内の掲示板で知って」という回答が増えた。これは、情報の伝達を少しでも早めようと学内限定のウェブを使うようになったことが原因と思われる。

それ以外の点は、昨年度と同じ傾向である。



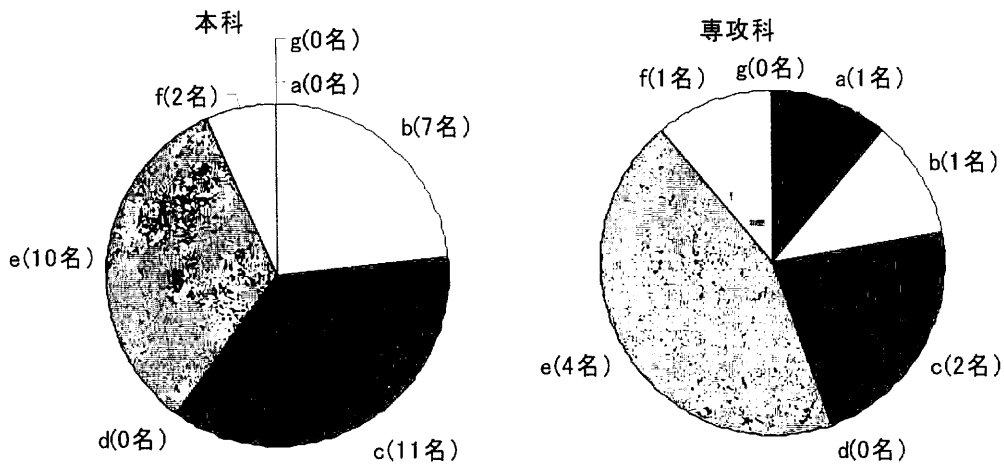


図 B3 「受入機関選択の経緯」の集計

表 B3 図 B3 中の記号の意味

a. 自分で協議団体の HP 探して	e. 学内の先生の紹介で
b. 自分で個別企業の HP 探して	f. 友人の紹介で
c. 学内の掲示板で知って	g. その他
d. (学内で行われる)マッチング会利用	

図 B4(a)に、「行った事前準備」に関する集計を示す。図中のアルファベットは回答を示すものであり、その内容は表 B4 に示す。また、図 4(b)に「もっとやるべきだった事前教育」に関する集計を示す。図中のアルファベットの意味は、同じく表 B4 のとおりである。

もっとやるべきだった事前教育としては、受入先に関する研究があげられている。これは、受入先からのアンケートでも指摘されていた点であり、今後充実を図るべき点だと言える。

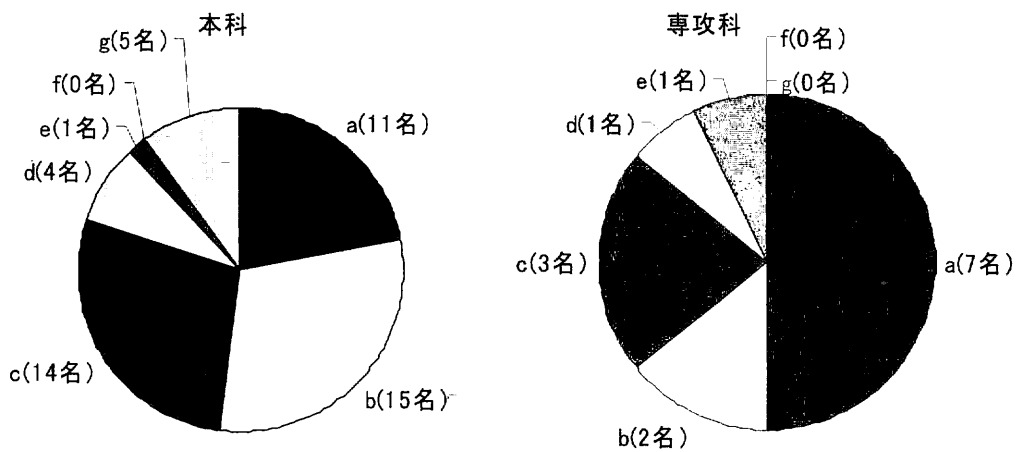


図 B4(a) 「行った事前準備」の集計

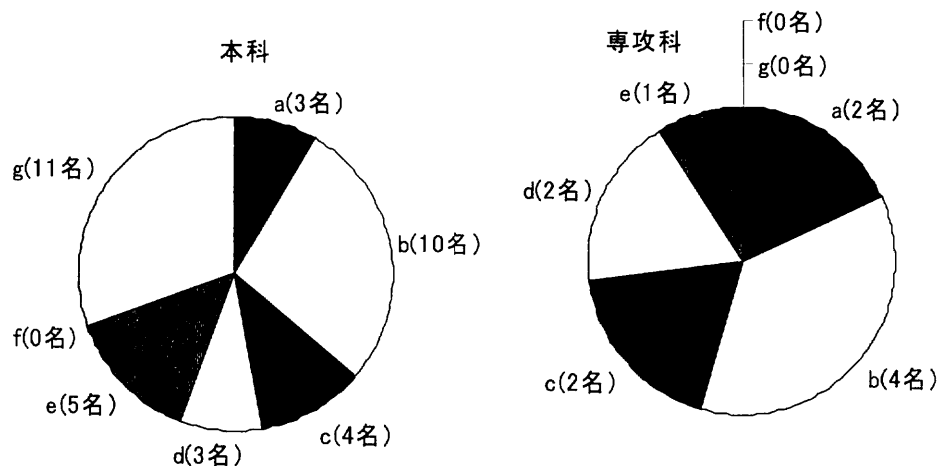


図 B4(b) 「もっとやるべきだった事前準備」の集計

表 B4 図 B4 中の記号の意味

a. 安全性、知的財産について	e. 報告書の書き方やワープロの使い方など予想される技能について
b. 受入先に関する研究	f. その他[ ]
c. インターンシップで身に付けるべき能力・姿勢について	g. いったい事前の教育を受けていない/不要
d. ビジネスマナーについて	

図 B5 に、アンケートの「成果の自己評価」を集計したものを示す。図中のアルファベットは回答を示すものであり、その内容は表 B5 に示す。昨年同様、多岐にわたる成果が得られた。この複数回答可能な質問に対して平均約 8 つの回答が得られており、学生の積極的な姿勢が窺える。なお、最も多い回答は、j. (実社会の一部に触れ、貴重な社会体験になった) である。

表 B5 図 B5 中の記号の意味

<b>【学生生活】</b>	k. 体験してみないとわからないことがたくさんある事を知った
a. 自分の勉強不足、力不足を実感した	l. 就職先についてのヒントが見えてきた
b. 学校の勉強の重要性を理解できた	m. 仕事の厳しさが分かった
c. 学校が設定している学習・教育目標の意味を実感した	n. 働くことが苦でなくなった
d. 残りの学生生活でやるべきことが見えてきた	o. 社員の方のお話を聞いてとても有益だった
<b>【技術】</b>	<b>【社会人】</b>
e. 自分の適性が何か、見えてきた	p. 自分を見直す良い機会になった
f. 自分の将来のキャリアが見えてきた	q. 自分の意識が変わった
g. 実務のことがわかり、職業意識が湧いてきた	r. 責任感・自立心がついたような気がする
h. 技術者が社会から求められていることを実感した	s. 自分の甘えがわかった
<b>【就職】</b>	t. マナーの大切さを知った
i. 会社のイメージがはっきりしてきた	<b>【その他】</b>
j. 実社会の一部に触れ、貴重な社会体験になった	u. その他[ ]
	v. 特に成果らしきものは得られなかった

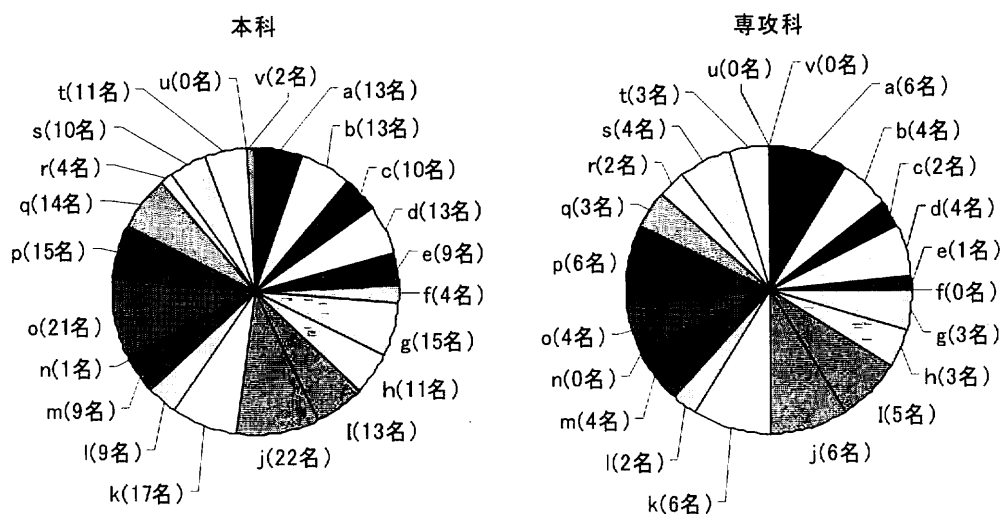


図 B5 「成果の自己評価」の集計

図 B6 に、アンケートの「満足度」を集計したものを示す。本科生も専攻科生も同様に、有意義であるという回答であり、高い満足度が得られたことが示される。このことも、昨年度と同様の傾向である。

以上のように、アンケートの6つの質問に関する集計からインターンシップ像を示した。非常に有意義であり、校内では得られない高い教育効果が得られていることが確認できる。今後も多くの学生がこうした機会を利用して自らを高めることを望む。

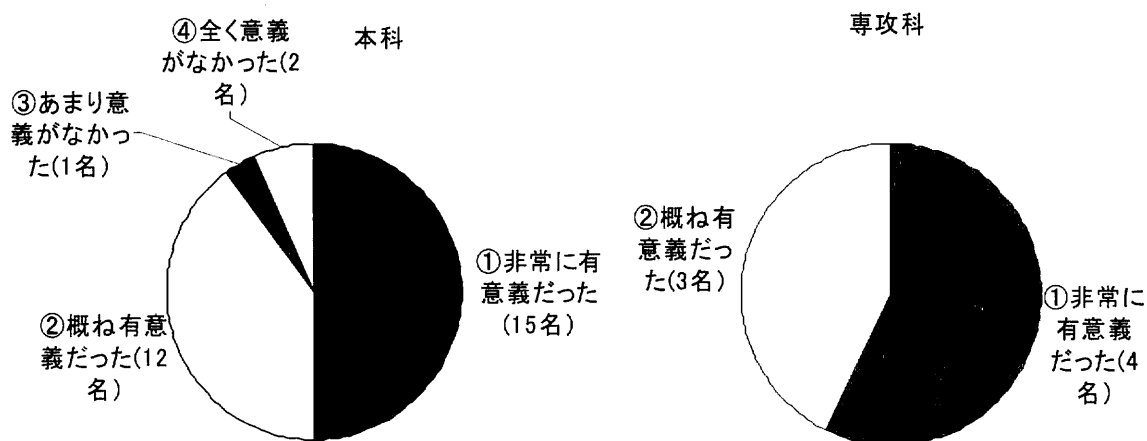


図 B6 「満足度」の集計

## 沼津高専インターンシップ(学外実習, 専攻科実習)の行き先と, 研修・生活の概要。

注意

- ・学生のアンケートをまとめたため, 正確でなかったり勘違いが含まれる可能性があります
- ・地区別に分類しました。同一地区は五十音順としました。
- ・網掛けは, 2005年度の情報です。

### 静岡県東部

(沼津市)

#### 赤武エンジニアリング(株)(沼津市)

2006	本科男性	7月24日から10日間	概要[工場作業]
	2005年度 1名受入	7月25日から10日間 「自宅/下宿」に住み, 通勤は自転車, 通勤時間は30分以内。 交通費なし 昼食補助なし 日当なし	]研修最後はレポート 仕事開始時刻 8:15 その他:

#### 東海部品工業株式会社(静岡県沼津市)

2006	本科男性	7月24日から5日間	概要[検査]
		通勤は, 自宅から片道30分以内をバイク等で。 交通費は支給無し	研修時間は8時~17時
2006	本科男性	7月24日から5日間	概要[検査]
		通勤は, 下宿から片道30分以内をバイク等で。 交通費は支給無し	研修時間は8時~17時

#### 東芝機械株式会社(沼津市大岡)

2006	本科女性	7月31日から5日間	概要[開発]
		通勤は, 自宅から片道30分以内をバイク等で。 交通費は支給無し	研修時間は8時30分~16時45分
2006	本科男性		概要無回答

#### (株)長倉製作所(仲介---沼津商工会議所)(沼津市桃里)

	2005年度 1名受入	7月25日から10日間。概要[機械加工実習, 塑性加工実習] 「自宅/下宿」に住み, 通勤は電車, 通勤時間は60分未満。 交通費なし 昼食補助なし 日当なし	]研修最後は特になし 仕事開始時刻 8:00 その他: 未記入
--	----------------	---	---------------------------------------

#### 沼津工業技術センター(沼津市)

	2005年度 1名受入	7月20日から15日間。概要[技術を覚えた] 「自宅/下宿」に住み, 通勤は徒歩, 通勤時間は未記入。 交通費なし 昼食補助なし 日当なし	]研修最後はレポート 仕事開始時刻 未記入 その他:
--	----------------	---	----------------------------------

#### めまづ産業振興プラザ(静岡県沼津市大手町1-1-3 沼津商連ビル5階)

2006	本科男性	8月13日から10日間	概要[パシリ・雑用] 最後に 発表会報告書
		通勤は, 自宅から片道30分以内をバイク等で。 交通費は支給無し 昼食代の支給無し 日当は500円	研修時間は8時30分~18時
2006	本科男性	7月18日から13日日間	概要[web作成] 最後に 発表会報告書
		通勤は, 下宿から片道30分以内をバイク等で。 交通費は支給無し	研修時間は9時~17時
2006	本科男性		概要[未記入] 最後に 発表会報告書
2006	本科男性		概要無回答
2006	本科男性		概要無回答
2006	本科女性		概要無回答
2006	本科男性		概要無回答
	2005年度 の典型例 19名受入	7月20日から10日間。概要[インターンシップWeb作成, 山本先生出版本の校正] 8月1日から10日間。概要[アーケーと名店街に関するアンケート実施とデータベース] 8月3日から10日間。概要[IT講習] 「自宅/下宿」に住み, 通勤は電車, 通勤時間は30分以内。 交通費なし 昼食補助 現物 日当なし  その他: バーベキュー その他: 自治体関係者など普段お会いできない方とお話しする多くの機会があった その他: 静岡県東部の中小企業中央会の会議にオブザーバーとして参加させていただいたこと。	]研修最後はレポート/発表会 研修最後は発表会 研修最後はレポート/発表会 仕事開始時刻 9:00

#### 沼津市役所(沼津市)

2006	本科男性		概要無回答
------	------	--	-------

沼津信用金庫(沼津市)	
2005年度→ 1名受入	8月15日から11日間。概要[取引先訪問と金庫業務手伝い] 「自宅/下宿」に住み、通勤は電車、通勤時間は未記入。 交通費なし 昼食補助 現物 日当なし その他: ]研修最後は不明 仕事開始時刻 未記入

明電舎 沼津事業所(沼津市東間門)	
2006 専攻科(男子)	7月31日から10日間 概要[組み立て 検査 部品配膳]最後に発表会報告書 通勤は、自宅から片道60分以内をバイク等で。 研修時間は7時50分～16時50分 交通費は支給無し
2005年度→ 1名受入	8月1日から5日間 概要[GPS関連の実習]研修最後はレポート/面談 「自宅/下宿」に住み、通勤は徒歩、通勤時間は不明。 仕事開始時刻 不明 交通費なし 昼食補助なし 日当あり(額不明) その他: 金銭以外として自社製品の展示会を見学させていただいた

明電システムテクノロジー(株)(沼津市)	
2005年度→ 1名受入	8月8日から10日間。概要[コーディング]研修最後は座談会 「自宅/下宿」に住み、通勤はバス電車、通勤時間は60分未満。 仕事開始時刻 8:30 交通費最後に実費 昼食補助 500円/日 日当なし その他:

リコー 沼津営業所(沼津市)	
2006 本科男性	7月31日から日間 概要無回答
2006 本科男性	概要無回答
2005年度 の典型例→ 2名受入	8月8日から10日間。概要[OSP設備技術]研修最後はレポート 「自宅/下宿」に住み、通勤はバイク、通勤時間は30分以内。 仕事開始時刻 8:40 交通費なし 昼食補助なし 日当あり 5500円/日 その他:

(裾野市)

南部化成株式会社(裾野市)	
2005年度→ 1名受入	8月1日から5日間 概要[安全教育、金型の基礎学習、金型修理現場研修な]研修最後はレポート/面談 「自宅/下宿」に住み、通勤はバス、通勤時間は60分未満。 仕事開始時刻 8:30 交通費最後に実費 昼食補助 現物 日当なし その他: 出張に動向させてもらい、仕事を見学した

ヤクルト(裾野市)	
2006 本科女性	8月14日から5日間 概要無回答
2005年度 の典型例→ 2名受入	8月1日から5日間 概要[ラインの手伝い、講義、見学]研修最後は特になし 「自宅/下宿」に住み、通勤はバス電車、通勤時間は60分未満。 仕事開始時刻 9:00 交通費なし 昼食補助 現物 日当なし その他: 自社製品をもらった

注意: 矢崎グループへのインターンシップは、矢崎総業が窓口になります。

矢崎総業(株)技術開発センター(裾野市)	
2005年度 の典型例→ 1名受入	7月19日から22日間。概要[センサの製作と評価]研修最後はレポート/発表会 「自宅/下宿」に住み、通勤は電車、通勤時間は未記入。 仕事開始時刻 8:30 交通費途中実費 昼食補助 現物 日当なし その他: 歓迎会(食事)

矢崎電線(裾野市御宿1500)	
2006 専攻科(男子)	7月31日から10日間 概要[電線評価]最後に面談 通勤は、自宅から片道30分以内を徒歩で。 研修時間は8時30分～17時30分 交通費は支給無し
2005年度 の典型例→ 2名受入	7月25日から10日間。 研修最後はレポート/発表会 概要[電線の屈曲試験、シールド効果測定、工場見学(電線ができるまで)、電線の温度上昇測定] 「自宅/下宿」に住み、通勤は電車で、通勤時間は30分以内。 仕事開始時刻 8:30 交通費最後に実費 昼食補助 現物 日当なし その他: OBIに紹介されいじられた。

矢崎電線(沼津市)	
2006 専攻科(男子)	7月31日から10日間 概要[検査]最後に報告書 通勤は、自宅から片道30分以内をJR等で。 研修時間は8時30分～17時 交通費は始めに実費を頂いた
2005年度→ 1名受入	7月25日から9日間。 研修最後はレポート 概要[活線劣化診断測定 TS測定 ネットワークアナライザによる測定 構造測定 電流センサ製作・測定] 「自宅/下宿」に住み、通勤は車、通勤時間は未記入。 仕事開始時刻 8:30 交通費最後に実費 昼食補助 現物 日当なし その他: 出張見学

矢崎計器(株)(静岡県島田市)	
2006 本科男性	7月31日から10日間 概要[事務]最後に座談会 通勤は、自宅から片道30分以内をバイク等で。 研修時間は8時～17時 交通費は始めに定額を頂いた

矢崎部品(榛原郡榛原町)	
2005年度 1名受入	7月25日 から10日間。概要[ 実習 ]研修最後は特になし 「自宅/下宿」に住み、通勤は徒歩、通勤時間は 未記入。 仕事開始時刻 未記入 交通費初め実費 昼食補助 現物 日当なし その他:

(伊豆の国市)

東芝テック株式会社(静岡県伊豆の国市大仁820)	
2006 本科男性	8月7日から5日間 概要[ 主に検査 ] 通勤は、下宿から片道60分以内をJR等で。 研修時間は8時30分～17時 交通費は最後に実費を頂いた 昼食代に現金を頂いた(or日当に込み) 日当は1000円

(長泉町)

県立がんセンター(東工大)(長泉町)	
2006 専攻科(男子)	概要無回答

小糸工業(長泉町)	
2005年度 の典型例→ 1名受入	7月25日 から5日間 概要[ 視覚障害者用装置の製作 ]研修最後は未記入 「自宅/下宿」に住み、通勤は電車、通勤時間は 90分未満。 仕事開始時刻 未記入 交通費なし 昼食補助 現物 日当なし その他:

株式会社 サンプラス(長泉町)	
2005年度→ 1名受入	8月4日 から11日間。概要[ 分散クラスタサーバの開発 ]研修最後は発表会 「自宅/下宿」に住み、通勤は電車、通勤時間は 60分未満。 仕事開始時刻 9:00 交通費なし 昼食補助なし 日当なし その他:

株式会社 巧工業(長泉町)	
2005年度→ 1名受入	7月25日 から10日間。概要[ めっきライン現場作業、めっき液分析、品質管理分析 等 ]研修最後はレポート/面談 「自宅/下宿」に住み、通勤は電車自転車、通勤時間は 90分未満。 仕事開始時刻 8:00 交通費なし 昼食補助なし 日当なし その他:

東邦化工建設(株)三島事業本部 分析センター(駿東郡長泉町)	
2006 本科男性	7月24日から10日間 概要[ 分析 ] 通勤は、自宅から片道30分以内をJR等で。 研修時間は8時～17時 交通費は最後に実費を頂いた

東邦テナックス(長泉町なめり)	
2006 本科男性	7月24日から10日間 概要[ 補助・邪魔 ] 通勤は、自宅から片道60分以内をJR等で。 研修時間は8時5分～17時5分 交通費は途中で定額を頂いた
2005年度→ 1名受入	7月25日 から10日間。概要[ シックハウスの測定(分析化学) ]研修最後はレポート 「自宅/下宿」に住み、通勤は電車、通勤時間は 90分以上。 仕事開始時刻 未記入 交通費最後実費 昼食補助 現物 日当なし その他:

不二精機(下土狩)	
2006 本科男性	7月31日から10日間 概要[ 組み立て、試運転 ]最後に 座談会面談 通勤は、自宅から片道90分以内をJR等で。 研修時間は8時～16時45分 交通費は支給無し 食券(現物)を頂いた 日当は1000円

富士乳業(長泉町)	
2006 本科男性	8月21日から5日間 概要無回答

(三島市)

株式会社電業社製作所 三島事業所(三島市)	
2005年度→ 1名受入	7月20日 から9日間 概要[ AutoCADを用いた流体機械の製図 ]研修最後は特になし 「自宅/下宿」に住み、通勤は原付、通勤時間は 30分以内。 仕事開始時刻 8:00 交通費日当なし 昼食は現物 その他: この企業は沼津高専生が多数いて、同窓会があり、その会費で会食していただいた。

東レ三島工場(三島)	
2006 本科男性	7月18日から10日間 概要[ 液体計量器の設計 ]最後に 発表会座談会面談報告書 通勤は、社員寮から片道30分以内を徒歩で。 研修時間は8時30分～17時 交通費は支給無し
2005年度→ 1名受入	8月2日 から7日間 概要[ 未記入 ]研修最後は未記入 「自宅/下宿」に住み、通勤は未記入、通勤時間は 30分以内。 仕事開始時刻 未記入 交通費なし 昼食補助 未記入 日当なし その他: 会食

森永製菓(株)三島工場(三島市南二日町)		
2006	本科男性	7月24日から5日間 通勤は、不明から片道30分以内をバイク等で。 交通費は支給無し
		概要[製品作成の体験]最後に発表会報告書 研修時間は8時～16時
2006	本科男性	7月17日から日間 通勤は、下宿から片道60分以内をバイク等で。 交通費は支給無し
		概要[見学] 研修時間は7時50分～16時
2005年度 の典型例→ 3名受入	8月1日から5日間	概要[ゼリー状飲料ライン、品質検査課] 「自宅/下宿」に住み、通勤は原付、通勤時間は30分以内。 交通費なし 昼食補助 現物 日当なし
		]研修最後は座談会 仕事開始時刻 8:00 その他: 自社製品をもらった

(御殿場市)

中外医科学研究所(御殿場市)		
2006	本科女性	8月21日から10日間
		概要無回答
2005年度→ 1名受入	8月22日から10日間	概要[企業内の各部署の仕事を体験] 「自宅/下宿」に住み、通勤は電車で、通勤時間は未記入。 交通費未記入未記入 昼食補助なし 日当なし
		]研修最後はレポート 仕事開始時刻 8:45 その他:

(富士市)

(株)アマダ(富士市)		
2006	本科男性	8月1日から10日間
		概要[3DCADを使った製図]

駿河ダイテック(富士市)		
2005年度 の典型例→ 1名受入	7月25日から10日間	概要[3DCAD] 「社員寮」に住み、通勤は徒歩、通勤時間は未記入。 交通費なし 昼食補助 500円/日 日当なし
		]研修最後は特になし 仕事開始時刻 未記入 その他: りよう費

東洋インキ製造(株)富士製作所(富士市)		
2005年度→ 1名受入	8月22日から5日間	概要[工場内見学、品質管理実習] 「自宅/下宿」に住み、通勤は電車、通勤時間は90分未満。 交通費初め未記入 昼食補助 食券 日当なし
		]研修最後は面談 仕事開始時刻 9:00 その他:

日清紡績富士工場(富士市)		
2006	本科男性	8月4日から5日間
		概要無回答

日本食品化工(富士市)		
2006	専攻科(男子)	
		概要無回答

(富士宮市)

(株)アミノ(富士宮市)		
2006	本科男性	
		概要[未記入] 通勤は、自宅から片道30分以内をバイク等で。 交通費は支給無し 食券(現物)を頂いた 研修時間は9時～17時 最終的に1万円

(株)エッチ・ケー・エス(富士宮市北山)		
2006	本科男性	7月24日から10日間
		概要[見学と体験(組立・検査・加工)] 通勤は、自宅から片道90分以内を徒歩で。 交通費は支給無し 研修時間は8時30分～17時30分

富士セラミックス(富士宮市)		
2006	本科男性	7月17日から6日間
		概要無回答

森永乳業富士工場(富士宮市)		
2005年度→ 1名受入	8月15日から5日間	概要[工場案内等] 「自宅/下宿」に住み、通勤は電車、通勤時間は90分以上。 交通費最後定額 昼食補助 現物 日当あり 2000円/日
		]研修最後は未記入 仕事開始時刻 未記入 その他:

静岡県中部

(静岡市)

NHK静岡(静岡市)		
2006	専攻科(男子)	
		概要無回答
2005年度→ 1名受入	8月8日から5日間	概要[未記入] 「自宅/下宿」に住み、通勤は電車、通勤時間は不明。 交通費最後定額 昼食補助なし 日当あり 2000円/日
		]研修最後は未記入 仕事開始時刻 不明 その他:

NTT Docomo(静岡市)	
2006	専攻科(男子) 7月31日から10日間 概要[社員に付いて回る(ほぼ毎回違う)]最後に 発表会座談会面談報告書 通勤は、自宅から片道90分超をJR等で。 研修時間は9時～17時 交通費は最後に実費を頂いた 昼食代に現金を頂いた(or日当に込み) 日当は1500円
2005年度→ 1名受入	8月1日 から10日間。概要[ドコモエンジニアリング・モバイルの仕事の付添体験]研修最後は発表会 「自宅/下宿」に住み、通勤は電車、通勤時間は 90分未満。 仕事開始時刻 9:00 交通費最後実費 昼食補助なし 日当あり 1500円/日 その他: 不明

NTTドコモ東海エンジニアリング(静岡市長沼)	
2006	本科女性 7月31日から10日間 概要[定期検査、修理等の補助]最後に 発表会座談会 通勤は、自宅から片道30分以内をJR等で。 研修時間は9時30分～18時 交通費は最後に実費を頂いた 昼食代に現金を頂いた(or日当に込み) 日当は1500円

スター精密(静岡市)	
2006	本科男性 7月18日から10日間 概要[工程能力測定、検査、CAD、工場見学]

富士データシステム(静岡市)	
2006	本科男性 概要無回答

明治乳業静岡工場(静岡市)	
2006	本科女性 8月7日から5日間 概要無回答

株式会社友成機工(静岡県静岡市葵区古庄3丁目28-20)	
2006	専攻科(男子) 7月24日から10日間 概要[プログラム作成] 通勤は、自宅から片道90分以内をJR等で。 研修時間は8時15分～17時 交通費は支給無し

(藤枝市)

中外製薬藤枝工場(藤枝市)	
2005年度→ 1名受入	8月8日 から5日間 概要[医薬品製造の品質管理]研修最後は発表会 「社員寮でない宿泊施設を会社が紹介」に住み、通勤は未記入、通勤時間は 仕事開始時刻 8:30 交通費初め実費 昼食補助 現物 日当1000円その他: 工場長・担当者の方々とのお会食

Victor, JVC(藤枝市)	
2006	本科男性 通勤は、会社幹線の施設から片道30分以内をバイク等で。 交通費は支給無し 概要[未記入]最後に 報告書 研修時間は8時～18時

## 静岡県西部

(浜松市)

(株)アーレスティ(浜松市)	
2006	本科男性 7月24日から10日間 概要[鑄造の現場体験]

(株)エフ・シー・シー技術研究所(浜松市)	
2006	本科男性 8月7日から10日間 概要[設計の工程の実際について調査]

株式会社光波(浜松市細江町)	
2006	本科男性 7月31日から5日間 概要[検査(基板、点灯の有無)]最後に 座談会面談 通勤は、自宅から片道15分を自転車で。 研修時間は8時15分～17時30分 交通費は不要だった
2006	本科男性 7月31日から5日間 概要無回答

SONY-EMCS(浜松市)	
2005年度 の典型例→ 2名受入	7月25日 から10日間。概要[設備のオーバーホールほか]研修最後はレポート/発表会 「自宅(下宿)」に住み、通勤はバイク、通勤時間は 30分以内。 仕事開始時刻 未記入 交通費なし 昼食補助 現物 日当あり 3000円/日 その他:

(引佐郡引佐町)

丸順重工(株)(引佐郡引佐町)	
2005年度→ 1名受入	8月5日 から7日間。概要[エクステンションアームの設計]研修最後は特になし 「自宅/下宿」に住み、通勤は徒歩、通勤時間は 未記入。 仕事開始時刻 未記入 交通費なし 昼食補助なし 日当 0 その他:



(湖西市)

FDK(湖西市)		
2006	本科男性	7月31日から9日間 通勤は、社員寮から片道30分以内を徒歩で。 交通費は最後に実費を頂いた
		概要[ 実験・測定 ] 研修時間は8時～17時

(掛川市)

(株)資生堂-掛川工場(掛川市)		
2005年度 の典型例→ 2名受入	7月25日 から10日間。概要[ ライン・各部署の仕事・工場見学 ] 「自宅/下宿」に住み、通勤は電車、通勤時間は 90分以上。 交通費未記入未記入 昼食補助 現物 日当なし その他: 自社製品と自作のエナメル、ファンデーションを頂いた	]研修最後は座談会 仕事開始時刻 8:20

ピアス株式会社(掛川事業所)		
2006	本科女性	7月24日から5日間
		概要無回答

(袋井市)

パイオニアディスプレイプロダクツ(株)(袋井市)		
2005年度→ 1名受入	8月21日 から5日間 概要[ 熱圧着工程の体験、雑用 ] 「自宅/下宿」に住み、通勤は徒歩/バス/電車、通勤時間は 90分以上。 交通費最後に実費 昼食補助なし 日当あり 1000円/日 その他:	]研修最後はレポート/座談会 仕事開始時刻 8:45

(磐田郡豊田町)

株式会社 小出製作所(磐田郡豊田町)		
2005年度→ 1名受入	8月4日 から11日間。概要[ 専攻科研究のための金型製造で用いられる実際 ] 「自宅/下宿」に住み、通勤は電車で、通勤時間は 90分以上。 交通費未記入実費 昼食補助 現物 日当なし その他:	]研修最後は面談 仕事開始時刻 未記入

県外

(新潟県)

長岡技術科学大学(新潟県長岡市)		
2006	本科女性	8月7日から5日間
		概要[ 研究室体験 ]
2005年度→ 1名受入	8月22日 から5日間。 概要[ セルラーゼ活性に関する酵母遺伝子の異種宿主での発現 ] 「社員寮」に住み、通勤は徒歩、通勤時間は 未記入。 交通費なし 昼食補助なし 日当なし その他: 食事に連れてってもらったりバーベキューした	研修最後はレポート/座談会 仕事開始時刻 未記入

(茨城県)

株式会社ジェイ・パワーシステムズ(茨城県日立市日高町5-1-1)		
2006	専攻科(男子)	7月24日から9日間
		概要[ 研究 ]最後に 発表会座談会面談報告書 通勤は、社員寮から不明を徒歩で。 交通費は最後に実費を頂いた 昼食代の支給無し 日当は1000円 研修時間は8時～17時
2005年度 の典型例→ 2名受入	8月2日 から9日間。 概要[ 水トリーシートサンプルを用いた損失電流波形の測定 ] 「社員寮」に住み、通勤は徒歩、通勤時間は 未記入。 交通費初め実費 昼食補助は日当に含む 日当1000円 その他: 専攻科2年生と先生が訪れ共同研究の報告会と打合せ	研修最後はレポート/発表会 仕事開始時刻 8:00

三菱化学(株)鹿島事業所(茨城県神栖市)		
2005年度→ 1名受入	8月22日 から10日間 概要[ 化学プラントにおいて安全を維持するためには ] 「社員寮」に住み、通勤はバス、通勤時間は 30分以内。 交通費最後実費 昼食補助 現物 日当なし その他: 歓迎会	]研修最後は発表会 仕事開始時刻 8:30

(栃木県)

中外製薬工業株式会社(栃木県宇都宮市)		
2006	本科男性	7月31日から5日間
		概要[ 工場内見学、機械の組立、点検、包装作業、目視など ]最後に 発表会 通勤は、会社幹線の施設から片道30分以内をタクシーで。 交通費は最後に実費を頂いた
		研修時間は8時45分～17時30分

(埼玉県)

デザインネットワーク社開発センター(埼玉県川越市)		
2005年度 の典型例→ 2名受入	7月25日 から10日間。概要[ 3D-CAD ] 「社員寮でない宿泊施設を会社が紹介」に住み、通勤は電車、通勤時間は 60 仕事開始時刻 未記入 交通費最後実費 昼食補助 500円/日 日当あり 2000円/日 その他:	]研修最後は座談会

パイオニア川越事業所(埼玉県川越市)			
2006	本科男性	7月24日から10日間	概要[ 実験の手伝い、プログラムの検討・作成 ] 最後に 発表会座談会報告書 研修時間は8時～17時 日当は1000円
		通勤は、社員寮から片道30分以内をバス等で。 交通費は最後に実費を頂いた	昼食代の支給無し

(東京都)

サントリー(東京都)			
2006	本科女性	8月21日から5日間	概要無回答

ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ(株)(東京都)			
2006	本科男性		概要無回答
	2005年度→ 1名受入	7月19日 から9日間。概要[ VAIOのIntegration業務と、検証業務 ] 「社員寮でない宿泊施設を会社が紹介」に住み、通勤は徒歩、通勤時間は 未 仕事開始時刻 9:30 交通費初め実費 昼食補助 1000円/日 日当なし	研修最後は発表会 その他:

ホゾリサーチセンター(東京都)			
2006	本科女性	事情により不参加	概要無回答

文部科学省(東京都)			
2006	本科男性	7月24日から5日間	概要[ スポーツ関連の仕事に付き合った ]
2006	専攻科(男子)		概要無回答
	2005年度 の典型例→ 2名受入	7月25日 から15日間。 概要[ 簡単な書類の作成、会議の準備、会議での雑務、コピーなどの雑務 ] 「自宅/下宿」に住み、通勤は電車で、通勤時間は 90分以上。 交通費なし 昼食補助なし 日当なし	研修最後はレポート/発表会 仕事開始時刻 9:30 その他:

(神奈川県)

IHIMU横浜工場(IHIマリンユナイテッド)(横浜市磯子区)			
2006	本科男性	8月21日から10日間	概要[ 溶接実習、設計実習 ] 最後に 発表会報告書 研修時間は8時～17時 日当は1000円
		通勤は、社員寮から片道30分以内を徒歩で。 交通費は最後に実費を頂いた	食券(現物)を頂いた
	2005年度→ 1名受入	8月22日 から5日間 概要[ いろいろ ] 「社員寮でない宿泊施設を会社が紹介」に住み、通勤は徒歩、通勤時間は 未 仕事開始時刻 未記入 交通費最後に実費 昼食補助 現物 日当あり 1000円/日	研修最後は発表会 その他: 食事会

花王川崎工場(川崎市)			
	2005年度→ 1名受入	7月25日 から10日間。概要[ センサの取り付け ] 「社員寮」に住み、通勤は電車、通勤時間は 90分以上。 交通費最後に実費 昼食補助 現物 日当なし	研修最後は発表会 仕事開始時刻 未記入 その他: 未記入

新日本石油(株)(ENEOS)(横浜市)			
2006	本科男性	8月21日から5日間	概要[ 実験、見学 ] 最後に 報告書 研修時間は9時～17時 日当は2300円
		通勤は、会社幹線の施設から片道30分以内をJR等で。 交通費は最後に実費を頂いた	昼食代に現金を頂いた(or日当に込み)

テクモ本社/設計(神奈川県藤沢市石川一丁目31-2)			
2006	本科男性	7月24日から5日間	概要[ 測定、製図(手書き、3D-CAD) ] 最後に 座談会報告書 研修時間は8時～17時 日当は1500円
		通勤は、社員寮から片道30分以内を徒歩で。 交通費は最後に実費を頂いた	昼食代に現金を頂いた(or日当に込み)

東亜石油(川崎市)			
	2005年度→ 1名受入	8月1日 から5日間 概要[ 石油精製 ] 「自宅/下宿」に住み、通勤はバス電車、通勤時間は 60分未満。 交通費最後実費 昼食補助 現物 日当あり 1000円/日	研修最後はレポート/発表会 仕事開始時刻 未記入 その他:

東燃化学(川崎市)			
	2005年度→ 1名受入	7月25日 から10日間。概要[ 石油精製 ] 「自宅/下宿」に住み、通勤はバス、通勤時間は 60分未満。 交通費最後実費 昼食補助なし 日当あり 2000円/日	研修最後は発表会 仕事開始時刻 未記入 その他:

東ブレ株式会社相模原事業所(神奈川県相模原市)		
2006	専攻科(男子) 7月24日から10日間 通勤は、社員寮から片道30分以内を徒歩で。 交通費は最後に定額を頂いた	概要[ CADを使用した模写 ] 研修時間は8時10分～17時30分
2005年度 1名受入	7月25日 から10日間。概要[ CAD ] 「社員寮でない宿泊施設を会社が紹介」に住み、通勤は電車、通勤時間は 30 仕事開始時刻 8:05 交通費最後に実費 昼食補助 現物 日当なし その他:	]研修最後は未記入

パナソニックITS(神奈川県横浜市)		
2006	本科男性 7月31日から5日間 通勤は、不明から片道90分超をJR等で。 交通費は最後に実費を頂いた	概要[ ラジオや雑音に関する基礎知識 ] 最後に 発表会 研修時間は8時30分～17時

(山梨県)

シチズンセイミツ(山梨県河口湖)		
2006	本科男性 7月31日から10日間 通勤は、社員寮から片道30分以内を徒歩で。 交通費は始めに定額を頂いた	概要[ 未記入 ] 最後に 報告書 研修時間は8時30分～17時30分
2005年度 1名受入	8月16日 から10日間。概要[ プレス ] 「社員寮」に住み、通勤は未記入、通勤時間は 未記入。 交通費最後に定額 昼食補助 現物 日当	]研修最後はレポート/発表会 仕事開始時刻 未記入 0 その他:

FANUC (山梨県南都留郡忍野村)		
2005年度 1名受入	8月1日 から9日間 概要[ 組立 ] 「社員寮」に住み、通勤は徒歩、通勤時間は 未記入。 交通費なし 昼食補助 現物 日当	]研修最後は特になし 仕事開始時刻 未記入 0 その他:

牧野フリス(山梨県南都留郡富士河口湖町)		
2005年度 の典型例 1名受入	8月18日 から10日間 概要[ 雑務 ] 「社員寮」に住み、通勤はバス、通勤時間は 未記入。 交通費最後に実費 昼食補助 現物 日当あり 1000円/日	]研修最後は発表会 仕事開始時刻 8:00 その他:

(愛知県)

アウトソーシング名古屋(名古屋市)		
2005年度 1名受入	8月18日 から10日間。概要[ 3D-CAD実習 ] 「社員寮でない宿泊施設を会社が紹介」に住み、通勤は徒歩、通勤時間は 未 仕事開始時刻 未記入 交通費未記入未記入 昼食補助 2000円/日 日当	]研修最後はレポート/発表会 0 その他: 一緒にご飯をたべた

出光興産愛知製油所(愛知県知多市)		
2006	本科男性 8月14日から7日間	概要無回答

中部電力株式会社(名古屋市)		
2006	本科男性 8月7日から5日間 通勤は、会社幹線の施設から片道60分以内をJR等で。 交通費は最後に実費を頂いた	概要[ 原子力・火力発電所の見学、発電シミュレーション ] 最後に 発表会報告書 研修時間は9時～17時
2005年度 1名受入	8月8日 から5日間 概要[ 浜岡原子力発電所での実習 ] 「社員寮」に住み、通勤は徒歩、通勤時間は 30分以内。 交通費最後に実費 昼食補助なし 日当	]研修最後はレポート/発表会 仕事開始時刻 8:30 0 その他:

豊橋技術科学大学(豊橋市)		
2006	本科女性 7月31日から10日間 通勤は、社員寮から片道30分以内を徒歩で。 交通費は最後に実費を頂いた	概要[ 高圧ねじり加工による材料の観察 ] 研修時間は8時30分～17時
2005年度 の典型例 3名受入	7月19日 から5日間 概要[ レーザ焼入れに関する研究 ] 「学生寮」に住み、通勤は徒歩、通勤時間は 未記入。 交通費なし 昼食補助なし 日当なし	]研修最後は発表会 仕事開始時刻 未記入 その他: 技科大の先生方との会食

株式会社日立IEシステム(名古屋 尾張旭)		
2006	本科男性 8月21日から8日間 通勤は、社員寮から片道30分以内を徒歩で。 交通費は支給無し	概要[ 品質検査 ] 最後に 報告書 研修時間は9時～17時 昼食代の支給無し 日当は1000円

ムラテックC.C.S犬山事業所(愛知県犬山市)	
2005年度 1名受入	8月25日から6日間 概要[安全講習・技能実習] 研修最後はレポート/発表会 「社員寮でない宿泊施設を会社が紹介」に住み、通勤は徒歩、通勤時間は未 仕事開始時刻 未記入 交通費最後に実費 昼食補助 現物 日当なし その他: 食堂での立ちながらの会食

(滋賀県)

ダイキン工業(株)滋賀製作所(滋賀県草津市)	
2006 本科男性	7月31日から10日間 概要[熱交換機組立ラインにて作業] 最後に 発表会報告書 通勤は、社員寮から片道30分以内を徒歩で。 研修時間は8時15分～17時 交通費は最後に実費を頂いた 昼食代に現金を頂いた(or日当に込み) 日当は2000円
2006 本科男性	7月31日から10日間 概要無回答
2005年度 1名受入	8月1日から10日間。概要[ライン実習・改善実習] 研修最後は発表会 「社員寮」に住み、通勤は徒歩、通勤時間は未記入。 仕事開始時刻 8:00 交通費最後に実費 昼食補助 2000円/日 日当 0 その他:

東レ滋賀事業所(滋賀県大津市)	
2005年度 1名受入	8月2日から10日間 概要[インストロン測定] 研修最後はレポート 「社員寮」に住み、通勤は徒歩、通勤時間は30分以内。 仕事開始時刻 8:30 交通費最後実費 昼食補助 現物 日当なし その他:

(京都府)

ユニチカ(株)(京都府宇治市)	
2005年度 1名受入	7月27日から8日間 概要[製品の物性測定] 研修最後はレポート/発表会 「社員寮」に住み、通勤は徒歩、通勤時間は30分以内。 仕事開始時刻 未記入 交通費最後実費 昼食補助 現物 日当あり 2500円/日 その他:

(和歌山県)

花王(株)和歌山工場(和歌山市)	
2005年度 1名受入	7月25日から10日間。概要[高分子化合物の粘度測定] 研修最後は 「社員寮」に住み、通勤は電車、通勤時間は90分未満。 仕事開始時刻 8:30 交通費最後実費 昼食補助 現物 日当なし その他: 自社製品の支給

## アンケートの集計 3(学生の感想)

自由記述形式の質問に関する回答のすべてを転記した。なお、明らかな誤字については訂正した。また、全く同じ内容が重なっている場合は削った。

## 沼津高専への意見

- 2週間では短い。1ヶ月の長期インターンシップを希望し、それに対しても単位が出るような制度にしてほしい
- 急がすな
- インターンシップ経験者の先輩たちのアンケートを事前に見れたことは非常に参考になった
- インターンシップの機会がもっと増えれば良いと思います。今回以外の機関も体験してみたいと思ったからです。
- インターンシップは就職に役立たなかった。アルバイトでもしていた方が良かった。
- インターンシップをもっとみんなに勧めしてほしい
- 各学科に適切な会社を勧めた方がいい
- 工業以外のも探してあげるべき
- 交通費は支給してもらいたい。特に、専攻科は必修でインターンシップを受けなければならぬのに、費用は実費というのは如何な物だと思ふ。
- 専攻科生のインターンシップ受入機関は、基本的に指導教員との共同研究機関が多く(同級生数人に聞いた所、殆どが共同研究機関でした)、共同研究機関の立地場所によっては多額の交通費が発生する事も考えられる。
- 今回、私の場合は受入機関が静岡市であったが、たまたま実家が藤枝市にある為、交通費は10日で9000円程度に収まった。だが、昨年度の先輩には、浜松まで実費で行った例もあり、その所は考慮して頂きたい。
- 全額支給しろとは言わないが、必修で行なわせる以上、多少の交通費の補助は当然ではないだろうか。
- このような機会はありませんかと思うのでよい経験になりました。
- 事前研修をもっと簡略化しないと時間の無駄。このアンケート書きにくい。
- 他学科の学生が自分と同じ研修先にいた。その学生がその科の教員から口頭で聞いた集合時刻は、自分が紙面で伝えられていた集合時刻とは異なっていた。当日、その学生は集合時間30分前に、私は集合時間10分前に到着したのだが、その結果私は「遅刻者」と間違われてしまった。他学科の教員のミスではないか。
- 大変貴重な機会をもてたと思う。単位をとるためという半強制的な理由ではあったが、そうでなければめんどくさがって参加しなかったと思うので、必修単位という形でよかったと思う。
- 担任の先生には受け入れ機関との仲介をしていただきありがとうございました。
- 担任のやる気を感じない
- もっと受け入れ先の情報を的確に知らせてほしかった。
- もっと多くの方がインターンシップを経験できるようにしてほしい。
- もっとスムーズに手続きが済むようにしてほしい。
- 良く世話してもらった

## 受入機関への意見

- ありがとうございます(2件)
- とても貴重な体験ができた
- 温かく迎え入れてくれてとても嬉しかったです。貴重なお話をたくさん聞けて良かったです。
- お忙しい業務の中、貴重な体験をさせてもらい非常に感謝している。普段の研究だけでは見えてこない企業の研究・開発等を知る事が出来、今後の為の良い刺激となった。
- お忙しい中、色々な経験をさせて頂きありがとうございました。
- 貴重な体験ができました。温かく迎えていただき、ありがとうございました。
- 貴重な体験をさせていただきありがとうございました。
- 貴重な体験をすることができ、有意義だった。
- 見学が多かったので、実際に作業することをもう少し与えていただきたい
- 見学ではないことを考えてほしい。インターンシップならではのこを行いたい。
- 2週間では短い。1ヶ月の長期インターンシップを希望し、それに対しても単位が出るような制度にしてほしい
- 非常に有意義な5日間となった。
- もう少し長く実習すべきだったと感じた。
- 本当に良い体験になりました。進路をしっかりと考えるきっかけになりました。
- 短い期間でしたが受け入れさせていただきありがとうございました。

- 工業以外も考えている人がいる事を知る
- 交通費くらい全額出してほしい。メシまずい。
- 仕事の邪魔になってしまったと思いますが社会とはどのようなものなのかということをし理解したような気がします。
- 事前の計画をもっと立てるべきだ。昼飯代くらい出してほしい。
- 実力に見合った指導ありがとうございました
- 食費と交通費は出してほしかったです。
- 親切に仕事の説明をしてもらったり、いろいろと面倒を見てもらったりと良くしてもらった。特に要望などは無い。
- 待遇がよく、学びやすい環境であった
- やることを用意した方がいい

### 3つのキーワードで表現

- インターンシップ) ^2 + アルバイト = 就職
- 「インターン」も「就職」も「アルバイト」もやってみなきゃわからない
- アルバイトと違い、インターンシップは仕事をしている感じがあり就職の為になった
- アルバイトはお金を貰うことを目的としているが、インターンシップは将来の就職を見据えて体験を得ることを目的にしていると思う。
- 今までは社会経験はアルバイトのみでいいという考えであったが、インターンシップを行えたおかげで、社会への見方が変わり、就職がいかに大変かがわかった。
- インターンシップで就職の様子が見えてきた
- インターンシップでは、アルバイトでは体験できない研究開発の仕事を体験し、将来の就職の際に必要なスキルを発見した。
- インターンシップとアルバイトと就職の違いはなんなのか分からない。(アルバイトの経験が少ないから)
- インターンシップとアルバイトはどちらも業務の一部を担う訳ではあるが、今回、インターンシップを行なって、明らかに得る物が違う事を体感した。インターンシップでは、企業の業務の一部分を担っているという責任感を感じ、就職して業務を行なう感覚を覚えるが、アルバイトでは、あくまで働きアリの一員として業務を行なうので、そのような責任感ある仕事と感じない。
- インターンシップに行くことによって、就職というものはどのようなものなのかということを感じる良い経験になると思います。またアルバイトでは感じる事が出来ない緊張感を味わうことが出来ると思います。
- インターンシップに参加して、アルバイトで社会勉強できているなんて思っていたが、実際に就職するような会社とは全然別物であると思った。働く姿勢というのがバイトを雇うようなところとはまったくの別物で真剣なものであった。
- インターンシップは、アルバイトとはまた違って、これから就職するためにはとても大切な体験だと思います。
- インターンシップはアルバイト間隔で実習すべきではない。就職する上で大切なことだ。
- インターンシップはアルバイトと違い、エンジニアとしての社会体験が出来、就職先を決めるのに非常に役に立つ
- インターンシップはアルバイトとは違った体験が出来る。就職を考える上で有意義
- インターンシップはアルバイトより、就職に近い
- インターンシップはアルバイトより就職するための、良い経験が出来る
- インターンシップはアルバイトよりも仕事に対する意識が強く、就職に就いてしっかりと考えることが出来ると思う。
- インターンシップは就職ともアルバイトとも違うことを教えてくれるので受けたほうが良い
- インターンシップは将来のための勉強、就職は生きていくためのお金を稼ぐもの、アルバイトは1種の趣味やお小遣い稼ぎとしてやるもの
- インターンシップを行ってみて、就職するということはアルバイトとは全く違うということが分かりました。
- このインターンシップを通して会社へ就職しての仕事とアルバイトでの仕事の違いが分かりました。
- これから就職活動をするにあたり、インターンシップは良い経験であり、受け入れ先を希望するのであれば強い武器になると思う。だから本科5年においてもどこかへ行くべきだったと感じた。アルバイトとは、やはり職場のマナーなどが全く違うので、良い緊張感が保てる環境だったと思う。
- 就職とアルバイトは全く違うものである。そのことがインターンシップを通して理解できた。責任などの重さが違う
- 就職は一生もの、アルバイトは気分しだい、インターンシップは就職の前座
- 今までアルバイトをしたことも就職したこともインターンシップに参加したことも無かったので有意義であった。
- 自分の受入機関は企業というより地域団体に近いと感じた。担当を任される仕事は地元イベントの補助スタッフ等があった。それとは別に大半を占めた作業は、文章や動画の編集

である。ウェブサイトに掲載するという名目で編集をしていた動画やテキスト文章が実際に使用されるとは思えなかった。その理由については、明確な指示がなく、ウェブサイトに掲載する文章であるはずなのに細かい検査が無しで合格を貰えたりと、ただ時間を埋める為だけの作業と感じる点が多かったからである。一日中エクセルで編集を続けるだけの日もあった、学校生活で普段から使っているソフトを使う事に関しては特に新しい収穫は無かった。そして自分は担当ではなかったが html タグによるインターンシップ専用サイトを設立する等の作業もあったが、それも学校で既に経験している事であった。

このインターンシップで普段できない経験をした事は特に無かった。特に技術的な事は何も得られなかった。これでは時給が支給されるアルバイトをしていた方がまだ良かったと思う。インターンシップを通して就職を控えての意欲等が向上すれば、と考えていたがそれすらもままならなかった。本当にインターンシップの受入機関は慎重に選ぶべきであった。

## 驚いたこと(一人 2 件記入)

- 安全性について驚いた (2 名)
- 清潔さ (2 名)
- セキュリティーがしっかりしていた。
- 「ええじゃないか」が止まった
- いろいろな工場を見学できたこと。
- いろいろな分野の仕事があること
- インターンシップの課題を通じ、高専で学んだ事が役立った事。本科・専攻科合わせて 5 年半の間、工学に関しての知識を学んでいたが、その学んで得た能力が社会で通用するのかという疑問が今まで存在していた。  
しかし、今回のインターンシップを通じ、その能力が自己に蓄積されており、産業の現場においてその能力を発揮できた事は、非常に自身にとって印象的であった。
- また、それと同時に高専で学んだ事が、現場で即戦力となる力である事を実感した。よく、企業の方は、高専卒業生を即戦力として高い評価をしているが、普段の授業態度を見る限り、その理由が私には理解出来なかった。だが、インターンシップを受けてその考えが改まった。高専で数多くの演習をこなした事で、実践的能力が身についている事を実感したからである。
- エアコン製造会社というだけあって生産ラインにもエアコンの風が来ていた。しかし作業中はそれが関係ないくらいに暑かった。
- 会社として、個人としての安全意識が高かった。
- 開発部の平均年齢が若かった。
- 学校の勉強が役に立ったこと
- 研究開発用の器具の値段は超高かった。
- 現場でどのように CAM ソフトウェアが使用されているかを知った事。研究では CAM を使用しているが、今回のインターンシップで現場で有用に利用されている事が判り、現在行なっている研究が企業で役に立つ可能性を秘めている事を実感した。
- 現場と図面の対比を見れたのがよかった。
- 現場は派遣会社が行っていて矢崎の社員は一切現場にいないこと。
- 工場内の暑さが厳しい
- 工場内の施設
- 高専卒がけっこういること
- 高専でやる勉強程度では、会社の話にぜんぜんついていけなかったこと
- 敷地が広く、移動が大変 (3 名)
- 実験・特性の有用性
- 社員の仕事への姿勢
- ご飯がおいしい
- 実験器具の多さ
- 自分の仕事に誇りをもっていた
- 自分の卒業した学科とかけ離れた部署に配属になることもある
- 自分の勉強不足
- 社員が自分の仕事しかしていない。
- 社員の人がとても親しみやすい人だったこと
- 社員寮の住み心地が良い。
- 社内で行われる新製品展示会を見学することができたこと。
- 食事がおいしかった。
- 職場の雰囲気がとても良かった。(3 名)
- 信頼される人が責任を与えられることが分かった。
- 建物の中に証明書となるカードを持ってないと入れないこと。
- 煙草タイムがあったこと。
- 沼津高専卒の人がいたこと
- 働いている社員の皆が自分の仕事のやりたいことをやらせてもらっていた。
- 働いている人の、安全や品質についての意識の高さが目に見えて驚いた。

- 半分以上派遣社員だったこと。
- 服装（ピンク！）
- 富士急が混んでた
- 毎朝自分たちが掃除をしていたこと

### 困ったこと(一人2件記入)

- 時間の使い方。
- 交通費が高む。
- 朝早かった
- 朝飯の時間が遅く、出勤時間ぎりぎり。
- 暑かった
- 雨（通勤）
- 移動手段にバイクがほしかった。
- オシロスコープの使い方が分からない
- 会社も初めてだったので体験させてくれることがハッキリとしていなかった
- 機械の不調により指導してくれる人の顔色が芳しくなかったこと。
- 午後の仕事がとても眠かったこと
- 湖西市は田舎だった。
- ことく
- コンビニ等が近くにあまりない。
- 作業着が暑かった。
- 作業していて、質問したいとき、担当者がいなかった事
- 敷地が広く、移動に時間がかかり、昼休みは休みにならなかった。
- 自宅から実習場所までが遠かった
- 自宅に課題を持ち戻って作業を行えなかった事。インターンシップの期間は決まっているので、期限内に成果を出す為には、課題を持ち戻らなければならなかったが、それが行えなかった。その為、毎回残業を行い、何とか期限内に成果を出した。
- 実験が多いし、内容がつまっていて、つらくて大変  
やることが多い
- 実習がちょっと難しかったこと。
- 社員寮の部屋に何もなかったこと。
- 食事
- 食費が高む。
- 生活環境の違いがあった。
- 専門分野以外のことが多かった
- その日の実習内容が終わってからやることがなくて困りました。
- 昼食の選択
- 通勤が不便だった。(2名)
- 土日のご飯が出ない
- 日常生活に困った。
- 半田付けが思うようにできない
- ひまだった
- 広いので少し道が分からなかった
- プログラム開発環境が整備されていなかった事。作業を行なった PC には、当初 C コンパイラやプログラム作成用のエディタが存在せず、開発環境を整備するのに半日を要してしまった事（恐らく、受入先企業内では C プログラムを作成する技術者がいない為と思われる）。
- 分析中の待ち時間の使用法
- 勉強不足で研究内容がわからない
- 報告書の作成
- 毎日スーツで通勤し、Y シャツが足りなかった。
- やる事が全然分からなくなってしまった事
- やることがなかった
- 予想以上に時間がかかってしまった事
- 夜にやることがない
- 寮の部屋が暑かった
- 仕事内容が簡単過ぎて詰まらなかった
- 自分から仕事を要求しなければ暇な時間が発生してしまいそうだった。
- 初日に通勤した時、「何の為にインターンシップに参加するか考えてからもう一度来て」と一方的に帰宅させられた事。

資料 B-3 終了



## インターンシップ希望者対象 受入先選定の支援（H18年5月24日）の概要

インターンシップの受入先をどう探したらよいか分からないという学生の声に応え、右図に示したポスターのとおり、受入先の選定方法について学内全体の説明会を行った。当日の様子を写した写真をこのページ内に示す。また、当日に使用したスライドの抜粋を資料C-2に示す。

アンケートからはこの会が学生の役に立ったかどうかよくわからない。もしも新年度も続けるならば、もう少し時期を早めたり、受入経験のある企業に声をかける等の工夫が必要だと思われる。

4年生、専攻科1年生へ

平成18年5月12日

## インターンシップ受入先選定を支援するための説明会

インターンシップ(学外実習)受入先を選ぶための支援として、下記の説明会を実施します。該当者は参加してください。

## 記

**対象者:** 希望すれば学年・学科を問わず誰でも参加できます。事前の申し込みも不要です。  
ただし、インターンシップを希望する4年生・専攻科1年生のうち受入先が未定の学生は必ず参加してください。

**目的:** インターンシップ受入先選定のための支援

**場所:** 第一視聴覚室(図書館1階)

**日時:** 5月24日(水曜日) 16:30 ~ 17:30 (集合時刻厳守)

**内容(予定):** ◆受入先選定方法の概要……………  
……………インターンシップ推進担当(E科望月礼)  
◆沼津地域ものづくり企業の受入日程……………沼津商工会議所  
◆公営民営の職種における、人間力UPのためのインターンシッププログラム……………沼津産業振興プラザ  
以上

問合せ：E科望月礼 @ インターンシップ推進担当



インターンシップ希望者対象 受入先選定の支援（H18年5月24日）のスライド抜粋

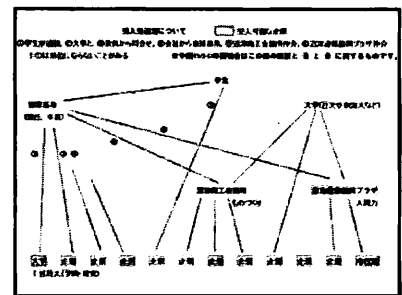
### インターンシップ受入先選定を支援するための説明会

予定16:30～17:30

- 受入先選定方法の概要  
(インターンシップ推進担当[E科望月孔])
- 沼津地域ものづくり企業の受入日程  
(沼津商工会議所)
- 公設民営の機関における、人間力UPのためのインターンシッププログラム(沼津産業振興プラザ)

### インターンシップの進めかた

- 受入先決定(マッチング) ← 本日はこれの説明
- 受入先との事務手続き(保険加入、履歴書など)
- 事前研修  
(専攻科は、工学倫理と各研究指導員から)  
(本科は、学校全体のもの(7/12)と担任から)
- 受入先でのインターンシップ実施
- 事後の報告書提出、報告会、お礼状送付
- 単位として認定(基準を満たしたものは)

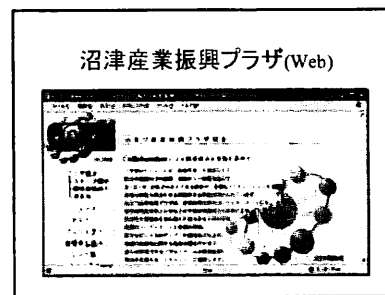
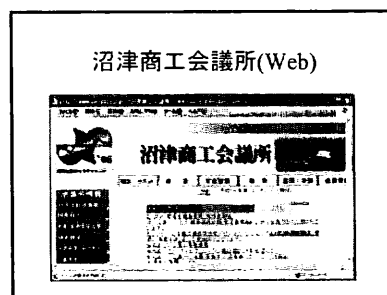
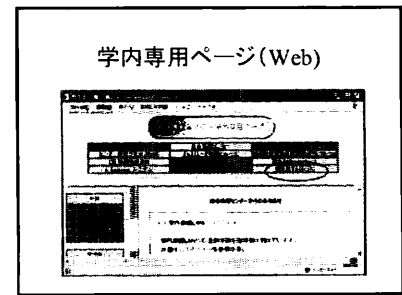


### 受入先選定方法あれこれ

- ①学生が直接(これは単位になりにくい)
- ②大学と
- ③教員から問合せ
- ④会社から直接募集
- ⑤沼津商工会議所紹介
- ⑥沼津産業振興プラザと、その仲介

### 受入先選定方法の比較 (望月の独断による分類)

③教員から	こちらから提案すること は、責任も更に大きい	個別の実施 大きな 個体差
④企業から	工業技術 ものづくり	5月中旬から案 内がきはじめた
⑤仲介		本日説明 共通理解 質の保証
⑥プラザ	地域興しは 人材から	本日説明



### 保険の加入

- 学生自身の怪我に対しては、学生総合保険で応じるものと考えています。
- 賠償責任を果たすための保険として、学校で¥250万/人の保険に入ります。(対人1億・対物2千万に应じられる)
- ¥250万は、7/12の事前研修会前までに、担任がクラスごとに集めます。

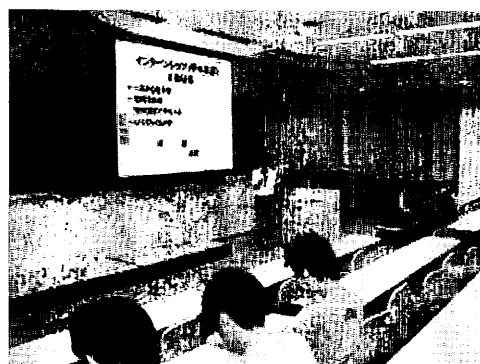
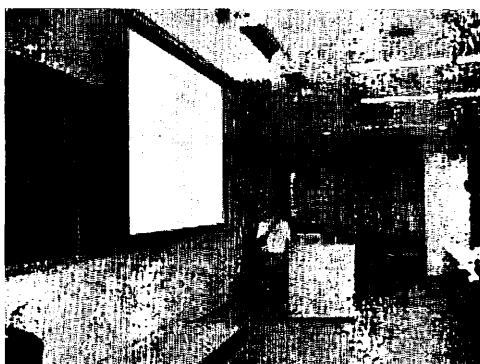
## インターンシップ学内事前研修（H18年7月12日）の概要

昨年度に引き続き、4年生のうちでインターンシップに参加するすべての学生を集め、インターンシップの事前研修会を行った。今年度からは年間予定として年度当初から日程を決めていたため、スムーズに開催することができた。当日の様子を写した写真をこのページ内に示す。また、当日に使用したスライドの抜粋を資料D-2に示す。

この研修の目的は、スライドにもあるように①受け入れ機関への感謝の気持ちを持つこと、②インターンシップへの学生の取組に関する積極性を喚起する、③安全意識と守秘義務の徹底、④手続きの確認である。4年生に対しては、これ以外にクラス担任からの指導もある。また、インターンシップに参加する専攻科の学生も、必修科目「工学倫理」による教育と、研究指導教員の個別指導という指導を受けている。このように、インターンシップに関してどの学生も少なくとも二重の指導を受ける体制ができています。

一方、受入機関からは学生の動機付けに関する指導の重要性を強く指摘されている。

今後は、こうした指摘を念頭に入れ、学生が受入先で積極的に活動できるような前準備を整えるように努力する。



インターンシップ学内事前研修（H18年7月12日）のスライド抜粋

## インターンシップ(学外実習) 事前研修

- これからの予定
- 技術者倫理
- 学外実習で守るべきこと
- いってらっしゃい

2006.7.12(水) 16:30～

対象:学外実習に行く学生  
ーインターンシップ推進担当ー

## これからの予定

受入先	学校	学生	過去、現在、未来
		○	3年次2月、先輩の報告を聞く
○→	○→	○	募集要項の提示・閲覧
○	←○	←○	希望の表明、受入先決定
		○	事前研修(本日ぶん含む)
○		←○	学外実習(インターンシップ)
○→	○	←○	評価案(受入先)、報告書(学生)
		○	報告会(対象:同級生,下級生)
		○	評価点の提出

## 先輩たちの目的

- 学校の勉強が社会にどう生かされる
- 現場の様子を知る
- 職業の選択や就職活動の参考にしたい
- 自分に足りないものや勉強しておくべき事を知りたい

以上、上位4項目(95%)

## 作用と反作用の法則 (物理じゃなくて)



## 先輩たちが学んだこと

- 現場の様子
- 学校での勉強の大切さ
- 知識・技術の習得
- 心構え、責任感

以上、上位4項目(85%)

最初注目しなくても、強く  
印象に残るものもあった

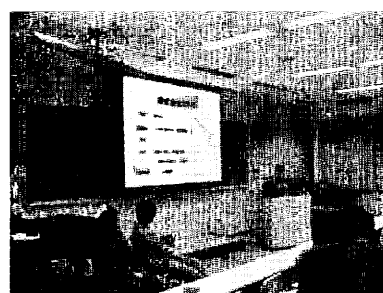
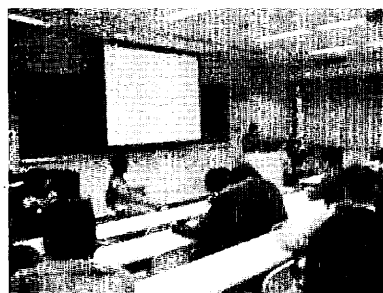
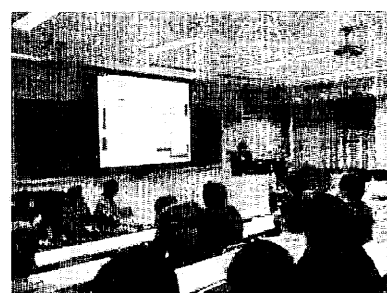
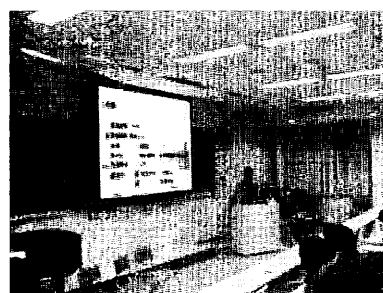
### 先輩たちの目的

- 学校の勉強が社会にどう生かされる
- 現場の様子を知る
- 職業の選択や就職活動の参考にしたい
- 自分に足りないものや勉強しておくべき事を知りたい

## いってらっしゃい

- ほとんどの先輩が「ためになった」と実感してきた。→ 受入先に感謝の気持ちを持ち、自分の目でいろいろなことを吸収してこよう。
- 監督者の指示に従い、安全・守秘義務に気をつけて。
- 必要なところへの連絡・提出物を怠らない。

今年度から、学校の年間予定の中にインターンシップ体験談が組み込まれるようになりました。これは上級生から下級生へと良き伝統を伝えることを目的としたもので、今年度インターンシップを体験した専攻科の学生1名と、各科から4年生1名ずつを講師に迎えて行うものです。（D科は2名派遣しましたので、報告した学生は7名でした。）3年生の参加は義務ではありませんが、200名収容できる会場（第一視聴覚室）にほぼ満員に近い人数が集まり、熱心な講演・聴講が行われました。演者の共通の結論は、インターンシップは「貴重な体験だった」ということでした。



他で記載しなかった、インターンシップ関連の動きについてまとめます。

日付	概要
H17 3/14	平成 17 年度反省会： 4 年生の学級担任、インターンシップ推進担当者（望月）、教務係長と、オブザーバーとして植月教授（津山高専電気電子工学科，専攻科担当）により、インターンシップの現状の報告と、今後の改善案を話し合いました。 この中で、礼状送付の徹底、ウェブを使った情報伝達の充実などが提案されました。
通年	インターンシップの直接の指導： 4 年生の担任がクラス内の学生に対して直接の指導を行っています。この報告書では特にそれらについて記録を残していません。 通常は以下の仕事を行っているようです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラス内ガイダンス</li> <li>・ 希望学生に応じて企業への受入可能性の確認</li> <li>・ 希望者の行き先決定</li> <li>・ 学内事務担当者への事務依頼</li> <li>・ クラス内事前教育</li> <li>・ （必要に応じて、実施前の受入先訪問）</li> <li>・ 実施中の受入先訪問</li> <li>・ 学生からの報告書受領</li> <li>・ クラス内報告会の開催</li> <li>・ 学科内へ報告書提出</li> <li>・ 成績付け</li> <li>・ 次回担当者への引継ぎ資料作成</li> </ul> なお、平成 16 年度の報告書は、各学科の記録を集めたものです。その報告書からも直接の指導の様子が分かります。
4/13	平成 18 年度担当者打合せ： 副校長、4 年生の学級担任、専攻科インターンシップ担当、インターンシップ推進担当者と、教務係長により、今年度の方針を話し合いました。 この中で、インターンシップ日程の確認、事務手続きの確認、保険加入の徹底、商工会議所との提携の説明がなされました。
5/16	静岡県東部地区の商工会議所に挨拶回り： 副校長（柳下教授）、インターンシップ推進担当（望月孔教授）、事務部長（益本）の 3 名で各商工会議所に挨拶に伺いました。
9/20 (会議)	平成 18 年度沼津高専外部評価委員会「コミュニケーション・プレゼンテーション能力育成の現状」への実施状況説明： 今年度の外部評価の課題に対し、「インターンシップにおける報告会は有効に機能している」ということを会議の場にて報告しました。その報告に対しては特に質問はありませんでしたが、「自由討議」の際に、
1/31 (回答)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旅行気分で参加する学生もあるので、インターンシップの際は目的を明確にして欲しい。</li> <li>・ 今回一名受け入れたが、インターンシップの目的がよくわからなかった。教員と事前に打ち合わせをしたかった。</li> </ul>
2/2 (教員 会議)	と指摘の指摘がありました。 この件に対し、「教員はこうした指摘があることを深く認識し、こうしたことが無いようにインターンシップに取り組む」とする回答を出すとともに、教員会議でも全教員に説明しました。

日付	概要
12/12	<p>インターンシップ説明会（ブケ東海（沼津市））（主催：(社)静岡県経営者協会インターンシップ事務局）：</p> <p>この説明会は、インターンシップ受入先を増やすことを目的に、静岡県東部地区の企業を対象として行ったものです。望月孔教授が、参加してまいりました。</p> <p>この説明会に出席して再認識したことは、「企業が初めてインターンシップの受入をする際の準備と不安がどれだけ大きなものであるか」ということです。我々教員は、学生にインターンシップを勧める立場として、こうしたことをきちんと伝えなくてはならない（さもなくばトラブルの元である）と思いました。</p>
2/2 ～ 2/3	<p>第2回地元密着型地域活性化シンポジウム（グランドニューホテル王子（苫小牧市））（主催：苫小牧工業高等専門学校）：</p> <p>物質工学科小林美、竹口、古川先生が、参加してきました。</p> <p>このシンポジウムは、現代GP（現代的教育ニーズ取組支援プログラム）に採択された『学生参画型産学連携プログラム―“技術者の卵”の地産地消を目指して―』に関して、その研究成果を報告するものでした。</p> <p>苫小牧高専の教育プログラムによると、4年次のインターンシップを「プレ研究」と呼び、3週間かけています。</p> <p>このインターンシップは、通常のものに比べて期間が長いこと、指導教員がより深く関わること、その内容を共同研究の形で卒業研究や専攻科研究に繋げることを強く意識していることが異なっています。また、共同研究の活性化や、その成果および卒業生の活躍による地元産業界の活性化も視野に入れたものです。</p> <p>現状では、この制度を導入して2年目であり、いくつかの問題点が見られていますが、教員にとっては地元企業に貢献する社会的意義があり、学生にはこれ以上ない創造性教育の場であり、大きな可能性を含んだものと言えます。</p>
3/15 予定	<p>インターンシップ推進フォーラム 2007（科学技術館 サイエンスホール）（主催：文部科学省）：</p> <p>望月孔教授参加予定</p> <p>予定されているプログラムの抜粋：</p> <p>事例紹介（大学）名古屋工業大学 「技術の市場化を実現する産学連携教育―産学共通プラットフォームでの双方向インターンシップ―」</p> <p>事例紹介（大学）金沢大学 「分野混成チーム派遣によるモノづくり教育―消費者の立場で商品開発に関わる高度人材養成―」</p>

(趣旨)

第1条 この規定は、沼津工業高等専門学校規則第13条第2項別表第2に定める選択科目のうち、学外実習について必要な事項を定める。

(学外実習の目的)

第2条 学外実習は、本校学生が、企業等(国又は地方公共団体を含む。以下「実習機関」という。)において、実習(実習機関の計画する研究開発に関する研修及び技術講習等を含む。)を通じ工業技術を体得することを目的とする。

(履修の時期)

第3条 学外実習は、原則として夏期休業中に履修するものとする。

(履修の手続き)

第4条 学外実習の履修を希望する学生は、別に定める期日までに、選択科目受講票を学科主任を経て校長に提出しなければならない。

(実習機関及び指導教員)

第5条 前条に基づき履修を許可された学生(以下「実習学生」という。)に係る実習機関及び指導教員は、学科主任の推薦に基づき校長が決定する。

(実習機関及び指導教員の推薦)

第6条 学科主任は、実習機関及び指導教員の推薦にあたって、次の事項を明記するものとする。

(1)実習学生 (2)実習機関の名称 (3)実習機関の所在地及び実習場所 (4)実習内容 (5)実習期間(実習時間を含む) (6)指導教員 (7)実習条件(宿舍, 安全対策, 保険等) (8)推薦する理由

2. 学科主任は、次の事項のいずれかに該当する場合はこれを推薦しないものとする。

(1)著しく危険を伴うもの (2)アルバイトと紛らわしいもの (3)宿舍, 交通費等学生の負担が著しいもの (4)就職活動の一部と見られるもの  
(上記第(4)項は、「(4)就職活動の妨げになるもの」と変更することになっている)

(指導教員)

第7条 指導教員は、学外実習について次の事項を行う。

(1)実習機関との連絡 (2)実習状況の確認 (3)実習中の事故に対する対応 (4)成績評価 (5)その他学外実習に関すること

(依頼)

第8条 実習機関への依頼は校長が行う。

(実習心得)

第9条 実習学生は、別に定める学外実習学生心得を守らなければならない。

(報告書)

第10条 実習学生は、実習終了後、実習報告書を実習機関を経て指導教員へ提出しなければならない。

(成績評価)

第11条 指導教員は、実習報告書及び実習機関の評価等により成績評価の原案を作成し、学科主任を経て校長に提出するものとする。

第12条 単位認定及び成績評価は、成績判定会議の議を経て校長が行う。

第13条 学外実習の単位は、1週間の基準作業時間を1単位相当とし、学科で定める単位数に相当する数の週以上を履修した者について認定するものとする。ただし、2学年にわたる実習を総合し単位を認定することはできない。

(その他)

第14条 この規定に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

(附則)

1. この規定は平成4年12月1日から施行する。



学外実習（以下「実習」という）は企業等において実際の工業技術を体得するため、専門課程の一環として履修するものであり、実習に従事する学生はこの心得を守らなければならない。

- 1) 学生は、この心得のほか必要な事項、細目について、実習開始前に学外実習指導教員の指示を受けること
- 2) 学生は、実習先の監督者の指導を受けるとともに、次に掲げる事項を守り、実習の目的を十分に達成するよう心がけること。
  - (1) 規律
    - ① 出退勤時間、休憩時間を守ること、無断で欠勤、遅刻、早退等は絶対にしないこと。
    - ② 社内規律、作業内規等の規則に従うこと。
    - ③ 学生として良識ある行動をとり、礼節を守ること。
    - ④ その他社内秩序を乱さないよう留意すること。
  - (2) 社内機密保持
    - ① 無断で設備、製品、図面等社内の写真撮影をしないこと。
    - ② 無断で指定以外の場所に立ち入らないこと。
    - ③ 許可なく、製品、研究、文献、ソフトウェア、図面、談話等を社外に漏らさないこと。
  - (3) 安全保持
    - ① 監督者の指示・説明に従い、独断で作業をしないこと。
    - ② 実習先の作業心得、安全心得をよく守り、細心の注意を払い、事故を起こさないよう心がけること。
    - ③ 万一、事故又は異常事態が生じた場合は、直ちに、監督者に報告するとともに、すみやかに指導教員に連絡すること。
  - (4) 作業態度
    - ① 監督者の指示に従い、独自の行動はとらないこと。
    - ② 実習先の社員等に対しては、努めて謙虚な態度で接すること。
    - ③ 必要以外の設備等には手を触れたりしないこと。
    - ④ 実習期間中は、毎日、作業の終了を監督者に報告すること。
  - (5) 用具の使用
    - ① 無断で社内の用具を使用しないこと。また、使用後は必ず元の場所に戻しておくこと。
    - ② 許可なく物品の搬入・搬出をしないこと。
- 3) 学生は、実習期間中、常に指導教員と連絡を保つとともに、実習内容の変更があった場合は、速やかに指導教員に報告すること。
- 4) 学生は、実習終了後、実習報告書を実習先に提出するとともに、すみやかに経過を指導教員に報告すること。

インターンシップ窓口

沼津工業高等専門学校 学生課 教務係

email : [kyoumu@numazu-ct.ac.jp](mailto:kyoumu@numazu-ct.ac.jp)

電話 : 055-926-5733

FAX : 055-926-5882

〒410-8501 沼津市大岡 3600